

石川県こころの健康センター所報

第 34 号

(平成23年度実績)

石川県こころの健康センター

- 2012 -

目 次

はじめに

I こころの健康センター概要

1 沿 革	1
2 施設の概況	3
3 組織・機構	4
4 業 務	6

II 平成 23 年度こころの健康センターの活動概要

1 庶務課業務	
(1) 精神障害者保健福祉手帳の交付	8
(2) 自立支援医療費（精神通院医療）支給認定	9
(3) 精神医療審査会	11
2 相談課業務	
(1) 技術指導及び技術援助	13
(2) 教育研修	15
(3) 普及啓発	19
(4) 精神保健福祉相談	23
(5) 特定相談指導事業	32
(6) 組織育成	33
(7) 在宅精神障害者社会復帰促進事業（田園クラブ）	37
(8) 青年期心の健康づくり推進事業	39
(9) ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業	42
(10) 自殺予防対策推進事業	42
(11) 子どもの心のケアネットワーク事業	46
3 支援課（発達障害支援センター）業務	
(1) 発達障害児（者）及び家族等に対する相談支援・発達支援・就労支援	52
(2) 精神科医による相談事業	54
(3) 青年期グループ活動	55
(4) 就労者グループ活動	55

(5) 親のつどい	56
(6) 関係機関等との調整会議	56
(7) 機関コンサルテーション	57
(8) 個別支援のための調整会議	58
(9) 普及啓発及び研修	59

Ⅲ 資 料

1 保健所の精神保健福祉活動（平成23年度）	
精神保健福祉相談・訪問状況	62
2 その他の資料	
こころの健康センター貸出しビデオテープ・DVD一覧	63

I こころの健康センター概要

1 沿革

昭和 41 年 10 月	石川県社会福祉会館内に石川県精神衛生センターが開設される。
昭和 56 年 11 月	金沢市南新保町ル 3-1（現在地）に新築移転する。
12 月	デイ・ケア事業、乳幼児発達相談事業（～平成 8 年度）を開始する。
昭和 57 年 4 月	特定相談指導事業（アルコール関連問題、思春期精神保健に関する相談指導等）を開始する。
昭和 58 年 4 月	親子通所センターが児童相談所より移管される。 同時に庶務課、相談課、訓練課の課制が施行される。
昭和 61 年 4 月	心の健康づくり推進事業を開始する。
昭和 63 年 4 月	石川県精神保健センターと名称を変更する。 痴呆性老人通所事業を開始する。（～平成 2 年度） メンタルヘルス講座を開講する。（～平成 4 年度）
平成 元年 4 月	社会復帰連絡会を開始する。（～平成 5 年度）
平成 3 年 4 月	こころの相談ダイヤル事業を開始する。
平成 6 年 4 月	こころの健康フェスタ開催事業を開始する。（～平成 10 年度）
平成 7 年 7 月	石川県精神保健福祉センターと名称を変更する。
平成 8 年 10 月	ピア・カウセリング推進事業を開始する。（～平成 18 年度）
平成 13 年 4 月	石川県こころの健康センターと名称を変更する。
平成 14 年 4 月	精神医療審査会、通院患者の公費負担及び精神障害者保健福祉手帳に関する業務が石川県健康福祉部障害保健福祉課より移管される。
平成 14 年 10 月	住所表示が金沢市鞍月東 2 丁目 6 番地に変更される。
平成 17 年 4 月	発達障害支援センターが設置される。
平成 18 年 4 月	親子通所センターが閉所される。

- 平成 20 年 9 月 石川県精神科救急情報センター「いしかわこころの救急ダイヤル」事業を開始する。
- 平成 20 年 9 月 いしかわ子どもの心のケアネットワーク事業を開始する。
- 平成 21 年 5 月 ひきこもり地域支援センターが設置される。
- 平成 21 年 9 月 こころの緊急支援事業（C R T）を開始する。
- 平成 23 年 3 月 「こころの健康相談統一ダイヤル」を開始する。

2 施設の概況

(1) 土地

所在地 石川県金沢市鞍月東2丁目6番地 (〒920-8201) TEL 076(238)5761

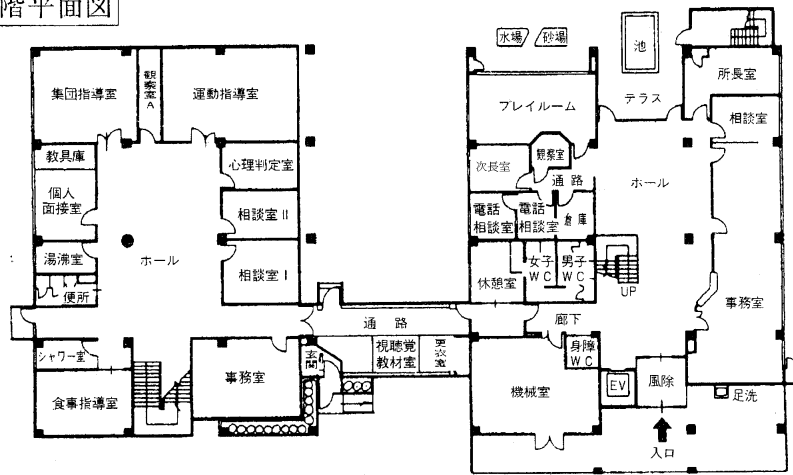
敷地 3,141 m²

(2) 建物

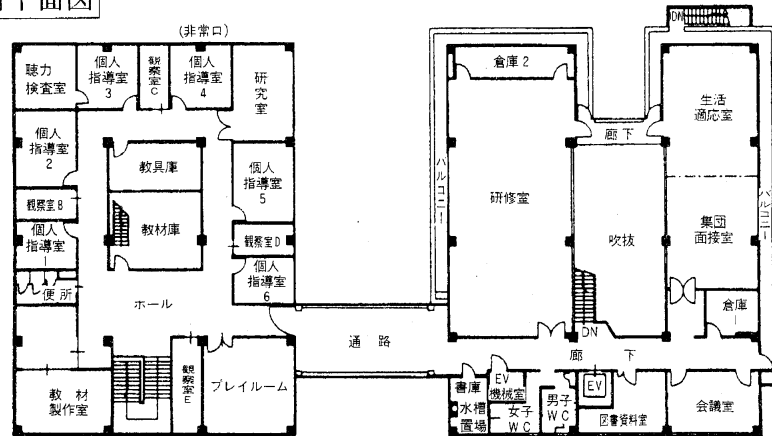
鉄筋コンクリート2階寄棟造 延1,761.26 m²

《館内平面図》

1階平面図



2階平面図

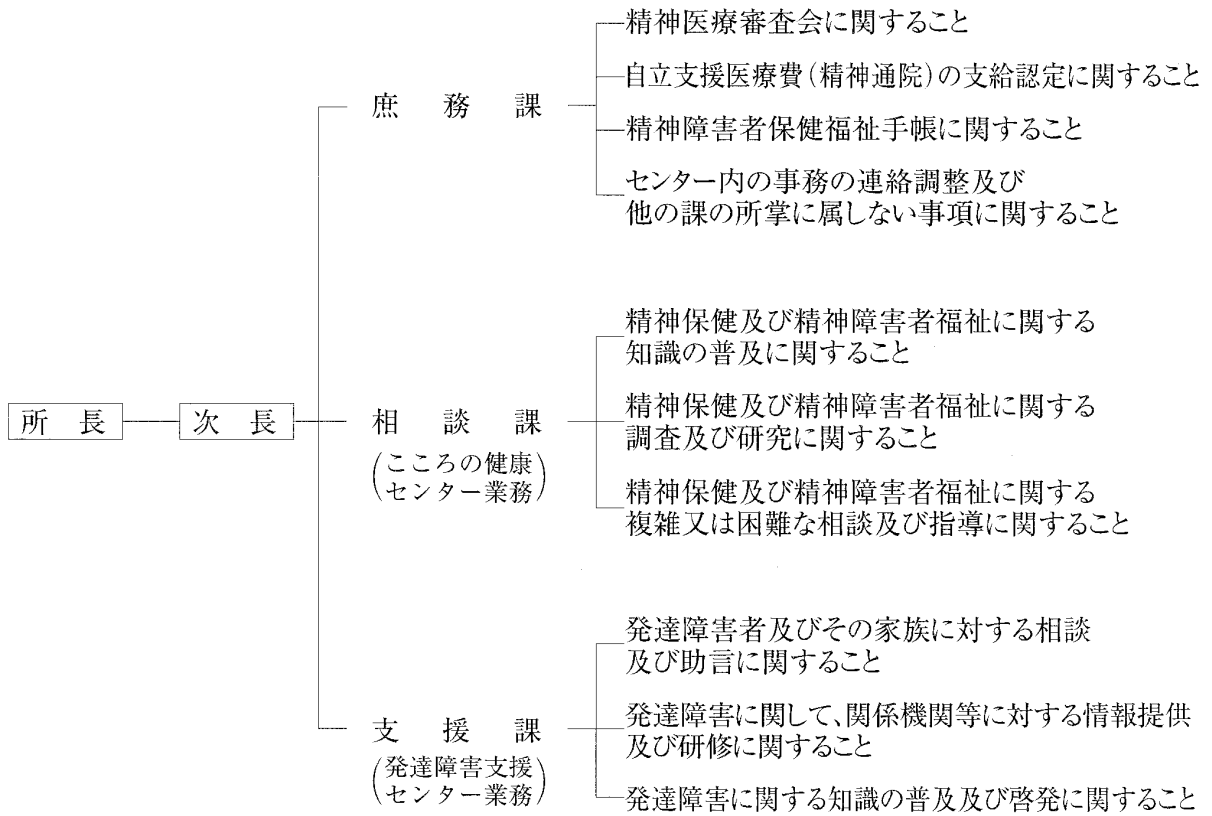


(発達障害支援センター)

(こころの健康センター)

3 組織・機構

(1) 機構



(2) 職種別職員数

(平成24年10月1日現在)

職種		医師	保健師	看護師	ソーシャルワーカー	福祉指導員	心理判定員	電話相談員	保育士	事務職員	運転技術員	事務補助員	計
職員	常勤		3	3	1		6			4	1		18
	兼務	2			1		1						4
嘱託	常勤						1	1				1	3
	非常勤	2			6		3	4	1				16
臨時職員												1	1
計		4	3	3	8		11	5	1	4	1	2	42

(3) 課別職員数

(平成24年10月1日現在)

課名	職種	職員		嘱託		臨時職員	計
		常勤	兼務	常勤	非常勤		
所長	医師		1				1
次長	医師		1				1
次長兼庶務課長	事務職員	1					1
次長兼相談課長	保健師	1					1
庶務課	看護師	2					8
	事務職員	3					
	運転技術員	1					
	事務補助員			1		1	
相談課	医師					1	22
	保健師	1					
	ソーシャルワーカー	1	1		6		
	福祉指導員						
	心理判定員	2	1		3		
	電話相談員			1	4		
支援課	保育士					1	8
	医師					1	
	保健師	1					
	看護師	1					
	事務職員						
	福祉指導員						
心理判定員	4		1				
計		18	4	3	16	1	42

4 業 務

I 庶務課

平成 14 年度に石川県健康福祉部障害保健福祉課から移管された次の業務を行っている。

- (1) 精神医療審査会に関する事務
- (2) 自立支援医療費（精神通院）の支給認定及び精神障害者保健福祉手帳に関する事務

II 相談課

相談課は精神保健福祉センター業務を担い、「精神保健福祉センター運営要領」（平成 8 年 1 月 19 日健医発第 57 号厚生省保健医療局長通知）により、次の業務を行っている。

(1) 企画立案

地域精神保健福祉を推進するため、県本庁及び関係諸機関に対し、専門的立場から、社会復帰の推進方策や、地域における精神保健福祉施策の計画的推進に関する事項等を含め、精神保健福祉に関する提案、意見具申等をする。

(2) 技術指導及び技術援助

地域精神保健福祉活動を推進するため保健所、市町及び関係諸機関等に対し、専門的立場から技術指導及び技術援助を実施する。

(3) 教育研修

保健所及び精神保健福祉に関係する諸機関の職員の技術的水準の向上を図るために、教育研修を実施する。

(4) 普及啓発

県民の心の健康づくり対策として、精神保健福祉の知識と精神障害についての正しい知識等の啓発普及を行うため、パンフレットやパネルを作成したり、ビデオやDVDの貸し出しをする。また同様の趣旨で職場、学校、福祉関係機関、市町の公民館などで開催される講演会や研修会へ講師を派遣する。

(5) 調査研究

地域精神保健福祉活動の推進並びに精神障害者の社会復帰の促進及び自立と社会経済活動への参加の促進等についての調査研究を実施するとともに、精神保健福祉に関する統計及び資料の収集整備をする。

(6) 精神保健福祉相談

幼児から老人まで、また自分自身のことから家族・同僚に至るまで、広く心の問題に関する面接及び電話相談に応じる。

(7) 特定相談指導事業

アルコール関連問題や薬物関連問題、思春期精神保健に関する相談に応じ、関連問題の発生予防、精神的健康の保持増進への援助をする。

(8) 組織育成

地域精神保健関係団体の育成に努め、活動に協力する。

- (9) 在宅精神障害者社会復帰促進事業（田園クラブ）
在宅精神障害者の社会復帰の促進を目的としたクラブ活動を週 2 回実施する。
- (10) 青年期心の健康づくり推進事業
主に 18 歳以上の若者のひきこもり問題に対して、関係機関とネットワークを作り支援していく。併せて、保護者等の家族教室、および本人のためのグループ活動を実施する。
- (11) ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業
ドメスティック・バイオレンスに悩む男性のための相談窓口を開設し、関係機関連絡会を開催して、問題改善のための連携強化を図る。
- (12) 自殺対策推進事業
自殺者数は年々増加傾向にあり、平成 19 年度より、自死遺族交流会や依存症教室、自殺予防初期介入研修、睡眠キャンペーンなどを実施している。
- (13) 子どもの心のケアネットワーク事業
子どもの心の問題について、地域で安心して相談できる体制づくりを目指しての相談対応や事例検討会、地域の保育所等への巡回、関係者育成セミナーなど平成 20 年度より実施している。
- (14) 関係機関との連携
地域精神保健福祉活動の円滑な推進を図るために保健所等との精神保健福祉業務連絡会を開催する。
全国(69ヶ所)及び中部・近畿ブロックの精神保健福祉センター長会(20ヶ所)と中部ブロックの精神保健福祉センター連絡協議会(11ヶ所)に参加している。

Ⅲ 支援課（発達障害支援センター）

支援課は発達障害支援センター業務を担い「発達障害支援センター運営事業の実施について」（平成 17 年 7 月 8 日障発第 0708004 号厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長通知）により、次の業務を行っている。

- (1) 発達障害児(者)及びその家族等に対する相談支援
- (2) 発達障害児(者)及びその家族等に対する発達支援
- (3) 発達障害児(者)及びその家族等に対する就労支援
- (4) 関係施設及び関係機関等に対する普及啓発及び研修
(関係施設及び関係機関等との連携)

Ⅱ 平成23年度こころの健康センターの活動概要

1 庶務課業務

(1) 精神障害者保健福祉手帳の交付

① 制度の概要

一定の精神障害者の状態にあることを証する手段となり、手帳の交付を受けた者に対し、各方面からの協力により各種の支援策が高じられることを促進し、もって精神障害者の社会復帰及び自立と社会参加の促進を図ることを目的として、平成7年に創設された。

② 対象者

精神疾患（知的障害を除く）を有する者のうち、精神障害のため長期にわたり日常生活又は社会生活への制約がある者。

③ 障害等級

- 1級 日常生活の用を弁ずることを不能ならしめる程度のもの
- 2級 日常生活が著しい制限を受けるか、又は日常生活に著しい制限を加えることを必要とする程度のもの
- 3級 日常生活若しくは社会生活が制限を受けるか、又は日常生活若しくは社会生活に制限を加えることを必要とする程度のもの

④ 交付手続き

申請書に写真（上半身）とア又はイの書類を添えて、居住地を管轄する市町長を経て、県知事に提出する。

ア 医師の診断書

精神障害に係る初診日から6か月を経過した日以後に作成されたもの

イ 年金証書等

精神障害を支給事由とする障害者年金または特別障害給付金を現に受給していることを証する書類の写し

⑤ 審査及び判定

診断書添付による申請の場合、手帳の交付の可否及び障害等級の判定については、精神保健指定医を委員とする石川県自立支援医療（精神通院）等判定会議で行われる。委員は7名（会議はメンバー持ち回りの4名出席で開催）で、平成23年度は22回開催した。

⑥ 手帳の有効期間

2年間 ※更新申請は有効期限の3か月前から可能

⑦ 手帳に基づく各種支援策

税制上の優遇措置や生活保護の障害者加算、公共交通機関の運賃割引、公共施設の利用料割引などの支援が受けられる。

表1 精神障害者保健福祉手帳の交付状況

(単位：件)

区 分		計	新 規		更 新				
			診断書	年金	診断書	年金			
平成 19年度	申請	2,022	1,052	970	487	171	565	799	
	交付	1級	336	211	125	83	25	128	100
		2級	1,405	669	736	310	128	359	608
		3級	243	146	97	75	15	71	82
		計	1,984	1,026	958	468	168	558	790
平成 20年度	申請	2,171	1,107	1,064	475	301	632	763	
	交付	1級	335	228	107	84	33	144	74
		2級	1,528	713	815	302	237	411	578
		3級	257	134	123	69	22	65	101
		計	2,120	1,075	1,045	455	292	620	753
平成 21年度	申請	2,363	1,184	1,179	493	283	691	896	
	交付	1級	348	225	123	92	29	133	94
		2級	1,722	813	909	331	215	482	694
		3級	241	117	124	54	32	63	92
		計	2,311	1,155	1,156	477	276	678	880
平成 22年度	申請	2,578	1,301	1,277	557	287	744	990	
	交付	1級	357	240	117	79	26	161	91
		2級	1,878	869	1,009	384	232	485	777
		3級	264	132	132	61	25	71	107
		計	2,499	1,241	1,258	524	283	717	975
平成 23年度	申請	2,849	1,461	1,388	612	350	849	1,038	
	交付	1級	330	208	122	65	25	143	97
		2級	2,124	1,026	1,098	425	282	601	816
		3級	330	179	151	91	37	88	114
		計	2,784	1,413	1,371	581	344	832	1,027

(2) 自立支援医療費(精神通院医療)支給認定

① 制度の概要

障害者等が、その心身の障害の軽減を図り、自立した日常生活を営むために必要な医療を受けるに際して、その医療費の一部を公費で負担する制度である。即ち、医療費に対して各医療保険制度が適用された後、患者の自己負担額を医療費の1割とし(ただし、世帯の所得に応じて負担上限月額の設定あり)、残りを公費負担とする。

② 対象者

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第5条に定める精神疾患を有する者で、通院による精神医療を継続的に必要とする程度の病状にある者。また、症状が殆ど消失している者であっても、障害の程度が軽減している状態を維持し、又は障害の再発を予防するために入院によらない治療を続ける必要がある場合も対象となる。

③ 申請手続き

申請書にア又はイの場合における書類を添えて、居住地を管轄する市町長を経て、県知事に提出する。

ア 支給認定の申請のみを行う場合

自立支援医療（精神通院医療）の診断書、被保険者証など医療保険の加入関係を示すもの、受診者の属する「世帯」の所得の状況等が確認できる資料

※高額治療継続者については「重度かつ継続」に関する意見書

イ 手帳の新規交付又は再交付の申請と併せて支給認定の申請を行う場合

精神障害者保健福祉手帳用の診断書及び治療の投薬内容がわかる自立支援医療費（同時申請）手帳用診断書投薬内容届、被保険者証など医療保険の加入関係を示すもの、受診者の属する「世帯」の所得の状況等が確認できる資料

※高額治療継続者については「重度かつ継続」に関する意見書

④ 支給認定

精神通院医療の要否については、石川県自立支援医療（精神通院）等判定会議で判定が行われ、県知事はその結果を受けて支給認定を行うかどうかを決定する。

⑤ 支給認定の有効期間

1年間 ※更新申請は有効期限の3か月前から可能

⑥ 受給者証の交付

支給認定が行われた申請者に対し、指定医療機関や自己負担上限月額、有効期間等を記載した自立支援医療受給者証（精神通院）を交付する。

表2 自立支援医療費（精神通院医療）の支給認定状況（単位：件）

年 度	計	保 険 者 別 内 訳				
		被用者 保険本人	被用者 保険家族	国民健康 保険	生活 保護者	その他
平成19	9,912	1,465	2,232	5,067	968	180
平成20	9,758	1,442	1,994	5,167	1,044	111
平成21	11,706	1,760	2,783	5,841	1,200	122
平成22	12,041	1,956	2,650	6,100	1,219	116
平成23	13,060	2,149	2,925	6,449	1,404	133

表3 手帳所持者数及び支給認定者数の各年度末推移

年 度	手 帳 所 持 者 数				支給認定者数
	1 級	2 級	3 級	計	
平成15	442	1,460	376	2,278	7,409
平成16	498	1,812	419	2,729	8,397
平成17	556	2,121	481	3,158	8,835
平成18	607	2,355	501	3,463	9,582
平成19	631	2,591	475	3,697	9,547
平成20	662	2,880	481	4,023	9,890
平成21	683	3,239	484	4,406	10,731
平成22	697	3,541	502	4,740	11,685
平成23	687	3,973	572	5,232	12,275

表4 市町別手帳所持者数及び支給認定者数（平成24年3月31日現在）

区 分		加賀市	小松市	能美市	川北町	白山市	野々市市	金沢市	かほく市	津幡町	内灘町
手帳	1級	42	39	28	1	44	23	332	17	8	8
	2級	195	272	143	11	393	161	1,837	126	74	82
	3級	51	60	24	4	70	29	198	17	10	10
	計	288	371	195	16	507	213	2,367	160	92	100
通 院		723	1,074	458	37	996	427	5,101	350	298	227
区 分		羽咋市	志賀町	宝達志水町	七尾市	中能登町	輪島市	穴水町	能登町	珠洲市	合計
手帳	1級	10	9	12	57	13	18	5	15	6	687
	2級	67	47	35	259	61	90	22	59	39	3,973
	3級	12	11	5	31	13	10	2	7	8	572
	計	89	67	52	347	87	118	29	81	53	5,232
通 院		255	213	127	897	256	318	112	224	182	12,275

(3) 精神医療審査会

① 設置の根拠法令

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第12条

② 審査会の業務

次の報告や請求に係る精神障害者の入院継続の要否又は処遇の適否について審査する。

ア 病院からの措置入院者の定期病状報告、医療保護入院者の定期病状報告、医療保護入院者の入院届

イ 入院中の者又はその保護者からの退院請求又は処遇改善の請求

③ 委員構成

10人（医療委員6人、法律家委員2人、有識者委員2人）

④ 合議体

審査会には5人で構成する合議体を2つ置き、審査は月1回交互に行う。

⑤ 平成23年度の開催実績

審査会12回、全体会議1回

表5 精神医療審査会の審査状況

年 度	退院等の請求			措置入院者の 定期病状報告		医療保護入院者 の定期病状報告		医療保護入院者 の入院届		審査件数 合 計	
	審査 件数	面接 件数	入院形 態の変 更等	審査 件数	入院形 態の変 更等	審査 件数	入院形 態の変 更等	審査 件数	入院形 態の変 更等	審査 件数	入院形 態の変 更等
平成14	22	22	—	20	—	1,168	—	1,542	—	2,752	—
平成15	25	25	1	15	—	1,123	—	1,561	—	2,724	1
平成16	22	22	—	12	—	1,122	—	1,673	—	2,829	—
平成17	24	23	—	13	—	1,201	—	1,716	—	2,954	—
平成18	22	22	—	19	—	1,151	—	1,968	—	3,160	—
平成19	22	22	—	21	—	1,151	—	2,143	—	3,337	—
平成20	24	23	—	17	—	1,184	—	2,214	—	3,439	—
平成21	30	26	—	23	—	1,253	—	2,310	—	3,616	—
平成22	27	23	—	23	—	1,234	—	2,348	—	3,632	—
平成23	50	33	—	31	—	1,316	—	2,343	—	3,740	—

注：入院形態の変更等の欄は、審査会において退院が適当又は他の入院形態が適当との意見が示された件数

2 相談課業務

(1) 技術指導及び技術援助

地域精神保健福祉活動を推進するために、保健所及び関係諸機関に対し職員等を派遣し、専門的な立場から技術援助を行っている。

平成 23 年度の技術援助回数は 243 回で、そのうち保健所(保健福祉センター、地域センター、金沢市保健所及び福祉健康センターを含む。以下「保健所」と記す。)へは 40 回 (16.5%)、行政・教育・福祉等の関係機関へは 203 回 (83.5%)であった。

ア 保健所

平成 23 年度において保健所からの要請に応じ、事例検討会をはじめ関係機関との連絡調整、情報提供、その他の内容で指導・援助を行った回数は 40 回であった(表 1)。

表 1 保健所への技術援助及び技術指導回数

区 分	計	事 例 検 討 会	知 識 普 及 保 健 活 動	関 係 機 関 と の 連 絡 調 整	情 報 提 供 ・ そ の 他
南加賀保健福祉センター	3			2	1
加賀地域センター	3		1	1	1
石川中央保健福祉センター	2	1		1	
河北地域センター	7	6		1	
能登中部保健福祉センター	5			1	4
羽咋地域センター	2	1		1	
能登北部保健福祉センター	4	3		1	
珠洲地域センター	7	6		1	
金沢市駅西福祉健康センター	1			1	
金沢市泉野福祉健康センター	4		1	2	1
金沢市元町福祉健康センター	1			1	
岐阜市保健所	1				1
合 計	40	17	2	13	8

イ 関係機関（保健所を除く）

県内の関係機関の要請に応じて、知識の普及・保健活動、関係機関との連絡調整、事例検討会、情報提供等の指導援助を行っているが、平成 23 年度の保健所以外の行政や教育、医療機関への技術援助は 203 回であった。

区分別では国・県への技術援助が 53 回と一番多く、次いで市町 38 回、福祉 35 回、教育 32 回の順になっている（表 2）。

表 2 関係機関（保健所を除く）への技術援助及び技術指導回数

区 分	計	事 例 検 討 会	相 談 訪 問 指 導	知 識 の 普 及 ・ 保 健 活 動	協 力 組 織 の 育 成	関 係 機 関 と の 連 絡 調 整	患 者 ク ラ ブ 活 動 等 の 援 助	情 報 提 供 ・ そ の 他
国 ・ 県	53	12	1	15		11	1	13
市 町	38	7	1	13	3	7		7
医 療	16	2		6		1		7
福 祉	35	12	17	4		2		
教 育	32	15		10	1	2		4
労 働	1							1
各 種 精 神 保 健 団 体	3			3				
学 生 教 育 ・ 実 習	5			5				
社 会 復 帰 施 設 等	8		1	2		3		2
司 法	4					1		3
そ の 他	8	1		1		1		5
合 計	203	49	20	59	4	28	1	42

(2) 教育研修

平成 23 年度は、保健所および精神保健福祉に関する諸機関の職員を対象にした研修会を 9 回開催した。

ア 精神保健福祉担当者初任者研修会

地域における精神保健福祉業務が円滑に推進されるように、関係機関の職員を対象に、相談に係る基礎知識の習得や技術の向上を図ることを目的に実施した。

	5 月 23 日 (月)	5 月 30 日 (月)
10:00	あいさつ オリエンテーション	講義 5 「障害者自立支援法、社会資源の活用について」 講師 こころの健康センター相談課 相談専門員 中宮 久美子
10:10～ 11:10	講義 1 「石川県における精神保健福祉行 について」 講師 こころの健康センター 次長 大森 せつ	
11:20～ 12:20	講義 2 「精神保健福祉の動向」 講師 南加賀中央保健福祉センター 主幹 荒田 稔	講義 6 「権利擁護に関する基礎知識」 講師 こころの健康センター相談課 担当課長 北村 義文
13:30～ 15:30	講義 3 「精神障害者に関する基礎知識」 ～理解と援助～ 講師 こころの健康センター 所長 清田 吉和	講義 7 「インテーク面接」 ～来所相談の留意点～ 講師 こころの健康センター相談課 福祉専門員 瀧辺 裕江
		講義 8 「子どもの心の問題に対する 新しい取り組み」 ～子どもの心のケアネットワーク～ 講師 こころの健康センター 次長 沼田 直子
15:30～ 16:30	講義 4 「精神保健福祉法」 ～入院形態・自立支援医療・精神保 健福祉手帳～ 講師 こころの健康センター 相談課主任技師 島田 留美 庶務課主任主事 永泉 祐紀子	グループワーク 「日頃の相談活動から思うこと」
参加者	市町職員、保健所職員、医療機関、障害者福祉 サービス事業所職員 4 4 名	市町職員、保健所職員、医療機関、 障害者福祉サービス事業所職員 4 4 名

イ 精神保健福祉担当者研修会

県内の関係職員を対象に精神保健福祉における援助関係のあり方について検討することを目的に、精神保健福祉担当者研修会を実施している。平成23年度は昨年度に引き続き社会的入院者に対する地域での支援づくりを考えることを目的に、地域生活支援事業研修として行った。

地域生活支援事業研修会

日時	平成24年3月14日（水）13時30分～17時
場所	石川県庁11階1105会議室
内容	講義「精神障がい者の地域生活支援」 ～医療と地域のネットワークを活かした当事者支援のあり方について“ピアサポート”の視点から～ 講師 聖学院大学人間福祉学科 准教授 相川 章子
参加者	保健所担当者、相談支援事業所職員、その他関係機関職員 81人

ウ アルコール関連問題研修会

アルコール関連問題に関する研修は、従来精神保健研修会の中に位置づけられ、昭和57年度より3年間及び昭和61年度、平成2年度に開催してきたが、平成4年度よりアルコール関連問題研修会として毎年行っている。

日時	平成24年3月4日（日）10時～12時00分
場所	石川県立中央病院健康教育館2階大研修室
内容	講演「アルコールとうつ・自殺 ～死のトライアングルを防ぐために～」 講師 かすみがうらクリニック 副院長 猪野 亜朗 当事者の体験発表
参加者	保健、福祉、司法、医療関係従事者、その他 111人

エ 薬物関連問題相談担当者研修会

平成12年度より薬物関連問題相談指導事業が開始され、平成18年度より相談担当者研修会を行っている。

日時	平成24年2月13日（月）13時30分～15時30分
場所	石川県こころの健康センター研修室
内容	講演「薬物依存症それぞれの回復 ～重複障害の視点から～」 講師 薬物依存リハビリセンター三重ダルク 施設長 市川 岳仁
参加者	保健、福祉、司法、医療、教育関係の相談従事者 89人

オ 思春期精神保健関係機関研修会

思春期・青年期の不登校・ひきこもりをはじめとする心の問題に対処するために、教育・医療・保健・相談機関の職員等を対象として、子どもたちの現状や問題点、取り巻く環境などについて理解を深め、より良い援助について考えることを目的に研修を行った。

日 時	平成 23 年 12 月 9 日（金）10 時～12 時
場 所	石川県立中央病院健康教育館 2 階大研修室
内 容	事例検討会（摂食障害について） 助言者 大阪市立大学大学院医学研究科 神経精神医学 教授 切池 信夫
参加者	保健所、相談機関等職員及び中学、高校等の教諭等子どもの気になる行動等の相談に携わっている人 29 人
共 催	石川県精神保健福祉協会
後 援	石川県教育委員会

カ ひきこもり訪問支援者養成講座

開 催 日	内 容	講 師	参加者
平成 24 年 2 月 24 日 14:30～16:30	講義 「青年期ひきこもりケースの理解と援助」	山梨県立精神保健福祉センター （山梨県都留児童相談所長） 所長 近藤 直司	44 人

キ こころの緊急支援活動研修会

平成 21 年度及び 22 年度に、こころの緊急支援活動に携わる隊員を募り、関係者の理解を深めることを目的に基礎研修を開催し、隊員となった者及び仮登録者に技能向上を図るための実践研修会を行ってきた。

平成 23 年度は、第 6 回全国 C R T 連絡協議会（こころの緊急支援活動研修会）を石川県で開催するにあたり、全国的な支援活動の周知ならびに理解、隊員の技能確立を図るべく、基調講演及び合同研修、隊員研修を実施した。

（基調講演）

日 時（場 所）	内 容	参 加 者
平成23年8月29日 13:00～16:40 （石川県文教会館 4階大 会議室）	講演 1 「災害を体験した子どもたちの心のケア ～教職員と保護者が知っておきたいこと～」 講師 武蔵野大学 教授 藤森 和美 講演 2 「災害 vs 事件・事故 ～C R T の枠組再確認～」 講師 山口県精神保健福祉センター 所長 河野 通英	精神保健福祉関係 者、教職員 68 人

(分科会)

日 時 (場 所)	内 容	参 加 者
平成23年8月30日 9:00~12:00 (石川県文教会館 4階大 会議室・2階会議室)	合同研修 講演「子どもの自殺が起きたときの調査を巡 って ～文部科学省の指針を読み解く～」 講師 山口県精神保健福祉センター 所長 河野 通英	精神保健福祉関 係者、教職員 35 人
	隊員研修 講演「CRTの任務構造と進行管理 ～実際の出動事案から再構成～」 講師 静岡県精神保健福祉センター 所長 松本 晃明	CRT隊員 20 人

ク 学生実習

① 実 習

学 校 名	実施日数	受講者数
石川県保育専門学園 (専攻科)	3 日	2 人
精神科認定看護師制度実習	1 日	1 人

② 講 義

学 校 名	実施日数	受講者数
金沢大学医薬保健学域保健学類	1 日	79 人
金沢工業大学大学院 (臨床心理学専攻)	1 日	5 人

(3) 普及啓発

一般県民や関係者に対して、精神保健福祉や心の健康に関する理解を深め、地域社会における精神保健福祉活動の推進を図ることを目的として、講演活動や各種団体などが開催する研修会への講師派遣、「センターだより」等の発行やホームページの作成、マスコミを通じての広報活動等、普及啓発事業を実施した。

ア 主催または共催した講演会

期 日	講 演 会 名	内 容	参加者
23. 12. 9	思春期精神保健 公開講演会	「摂食障害の理解と対応」 講師 大阪市立大学大学院医学研究科 神経精神医学 教授 切池 信夫	136 人
24. 3. 4	アルコール関連問題 講演会	「アルコールとうつ・自殺 ～死のトライアングルを防ぐために～」 講師 かすみがうらクリニック 副院長 猪野 亜朗 当事者の体験発表	111 人

イ 講師を派遣した講演会

	依 頼 先	内 容	回数	参加人数
市 町	加賀市	自殺予防講演	1	90 人
	加賀市	講演会「支え合う温かい手をすぐ側に」	1	45 人
	金沢市立内川小中学校	校内研修会	1	20 人
	穴水町立穴水小学校	子育ての食	1	30 人
	小松市	講義「こころの病気を理解しよう」	1	129 人
	市町村職員研修所	新任課長・課長補佐研修	3	195 人
	津幡町	自殺予防講演会	1	109 人
	白山市精神部会	子どものメンタルヘルス出前講座	1	90 人
	野々市市	子どものこころの発達	1	35 人
	金沢市泉野福祉健康センター	震災から学ぶPISD研修	1	50 人

そ の 他	穴水第一平和保育園	保育観察と気になる子どもへの早期介入	1	42人
	犀川保育園	食育に関すること	1	20人
	なぎさ工房リブ	「薬について」	1	20人
	石川県神経科精神科医会	石川県「こころのケアチーム」活動中間報告会にて、講演、活動報告	1	100人
	メンタルケア協会	メンタルケアスペシャリスト養成講座	1	50人
	社会福祉協議会	介護福祉士国家試験準備講習会	2	87人
	石川県精神科看護協会	災害時の心のケア	1	150人
	麻薬覚醒剤乱用防止センター	薬物乱用防止教育認定講師養成講座	1	100人
	民生児童委員会長研修会	相談を受けるための視点	1	150人
国	税務大学校	メンタルヘルスについて	1	20人
県	県長寿生きがいセンター	いしかわ長寿大学講師	3	104人
	県障害保健福祉課	自殺を防ぐ相談技術	1	110人
	県立大学	健康科学「大学生のメンタルヘルス」	1	140人
	石川県	障害者虐待防止権利擁護	1	200人
	石川県消防学校	職場の精神衛生	1	30人
	石川県被害者等家族連絡協議会	石川被害者等家族連絡協議会総会	3	180人
	福祉総合研修センター	障害程度区分認定にかかる認定調査員研修	1	93人

ウ マスコミ活用

期 日	内 容	報 道 機 関
H23. 4. 18	東日本大震災こころのケアチームについて	新聞社 1 社
H23. 5. 14	依存症教室について	TV 局 1 社
H23. 5. 16	依存症教室について	新聞者 1 社
H23. 9. 21	第 59 回精神保健福祉普及運動関連イベントの 記事提供	新聞社 1 社
H24. 3. 5	アディクションセミナーの記事掲載	新聞社 1 社

エ 普及啓発資料の作成

県下の精神保健の動向やこころの健康センターの事業の紹介を目的として発行した。

	内 容	発行部数
センター だより	第 76 号 特集「震災時のこころのケア」 第 77 号 特集「摂食障害」	各 500 部
講 演 録	子どものこころの問題に携わる関係者育成セミナー(第 1 回、第 2 回) アルコール関連問題講演会	各 200 部 500 部
パ ン フ レ ッ ト	うつ病をご存じですか? かけがえのない命をまもるために こころの医療機関	3,000 部 3,000 部 1,000 部
そ の 他	アルコール依存症の早期発見	5,000 部

オ 普及啓発資料の貸し出し

病院や地域関係機関にビデオ、パネル等の貸し出しを行っている。平成 23 年度は 51 件で、県の保健福祉センターからの依頼が最多であった。

カ ホームページの更新

アドレス <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/fukusi/kokoro-home/kokoro/top.html>

キ 自殺予防週間キャンペーン

期 日	内 容	場 所
9 月 10 日 ～16 日	自殺予防週間キャンペーン ・自殺予防パネル、ポスター、パンフレット、 のぼり旗の設置 ・ティッシュ等の配布	J R 金沢駅構内

ク 障害者ふれあいフェスティバル

障害者の自立と社会参加の意欲を高め、並びに県民の障害者に対する理解と認識をより一層高めることを目的に開催される事業で、平成 23 年度が第 16 回となる。

当初、知的障害と身体障害の 2 障害合同形式で開催されていたものだが、平成 11 年度より精神障害関係団体が正式に加わり、3 障害合同で開催されている。

日 時 平成 23 年 9 月 25 日（日）10:00 ～16:00

場 所 石川県産業展示館 4 号館

参加者 約 12,000 人

内 容 (精神障害者関係分)

ステージコーナー（詩の朗読）、展示コーナー、スポーツ・ゲーム・手作り教室コーナー、販売・屋台模擬店コーナー、体験コーナー、福祉相談コーナー

(4) 精神保健福祉相談

平成23年度の相談（電話相談と来所相談を合わせたもの）の概要は表1、表2の通りである。相談延件数は、電話相談5,479件、来所相談1,432件であり、前年度の電話相談7,088件、来所相談1,452件に比べ、電話相談件数は減少し、来所相談は横ばいである。実件数のうち新来件数は238件であり、前年度からの繰り越しまたは再来相談件数は95件であった（表1）。

相談区分では、その他を除くと、電話相談では、心の健康づくりが2,071件で最も多く次いでうつ・うつ状態が1,152件となっている。来所相談では、思春期が323件と最も多く次いで社会復帰が262件の順になっている。再掲でひきこもりは177件で前年度の361件と比べ減少している。（表2）。

表1 電話相談・来所相談件数

		男	女	合計
電 話 相 談		2,576	2,903	5,479
来 所 相 談		753	679	1,432
新規	新 来 相 談	124	114	238
	繰り越し・再来	50	45	95
	小 計	174	159	333
継 続		579	520	1,099
合 計		3,329	3,582	6,911

件数は延件数

(参考) 相談件数の推移

年度	電話相談	来所相談	計
H19	4,013	957 (167)	4,970
H20	4,353	1,177 (197)	5,530
H21	5,097	1,181 (209)	6,278
H22	7,088	1,452 (263)	8,540
H23	5,479	1,432 (238)	6,911

注：（ ）は内数で新来相談件数

表2 相談区分別相談件数

		平成23年度		平成22年度
		電話相談	来所相談（新来）	来所相談（新来）
老人精神保健		69	2 (2)	4 (2)
社会復帰		86	262 (8)	264 (16)
アルコール		30	42 (6)	16 (6)
薬物		13	7 (5)	7 (4)
思春期		249	323 (73)	380 (77)
心の健康づくり		2,070	238 (63)	280 (73)
うつ・うつ状態		1,152	147 (18)	173 (34)
その他		1,810	411 (63)	328 (51)
計		5,479	1,432 (238)	1,452 (263)
再掲	ひきこもり	151	177 (24)	361 (35)
	自殺	52	5 (4)	16 (5)

件数は延件数()は新来で内数

注：思春期＝原則として13歳～24歳の精神発達の途上にある者およびその家族からの心の悩み等の思春期精神保健に関する相談を指す。

ア 電話相談

電話相談は、当センターの代表電話番号による職員が受ける相談のほか、専用電話相談の「こころの相談ダイヤル」で受ける相談を合わせたものである。

平成23年度の相談件数(延件数)は5,479件であり、性別で見ると、男性2,576件、女性2,903件と、女性の方が327件多い(表1)。

年齢区分別(不明を除く)では、「40～49歳」が1,426件(26.0%)と最も多く、次いで「30～39歳」が1,140件(20.8%)を占めている(表3、図1)。

相談内容別では「精神障害者の生活上の問題」が2,510件(45.8%)と最も多く、次いで「家庭内の問題」604件(11.0%)「対人関係上の悩み」483件(8.8%)、の順となっている(表4、図2)。

処遇としては、「傾聴・助言」が5,128件(93.5%)と最も多く、次いで「こころの健康センター(来所相談)へ紹介」が175件(3.2%)、「他機関紹介」が140件(2.6%)、となっている(表7)。

イ 来所相談

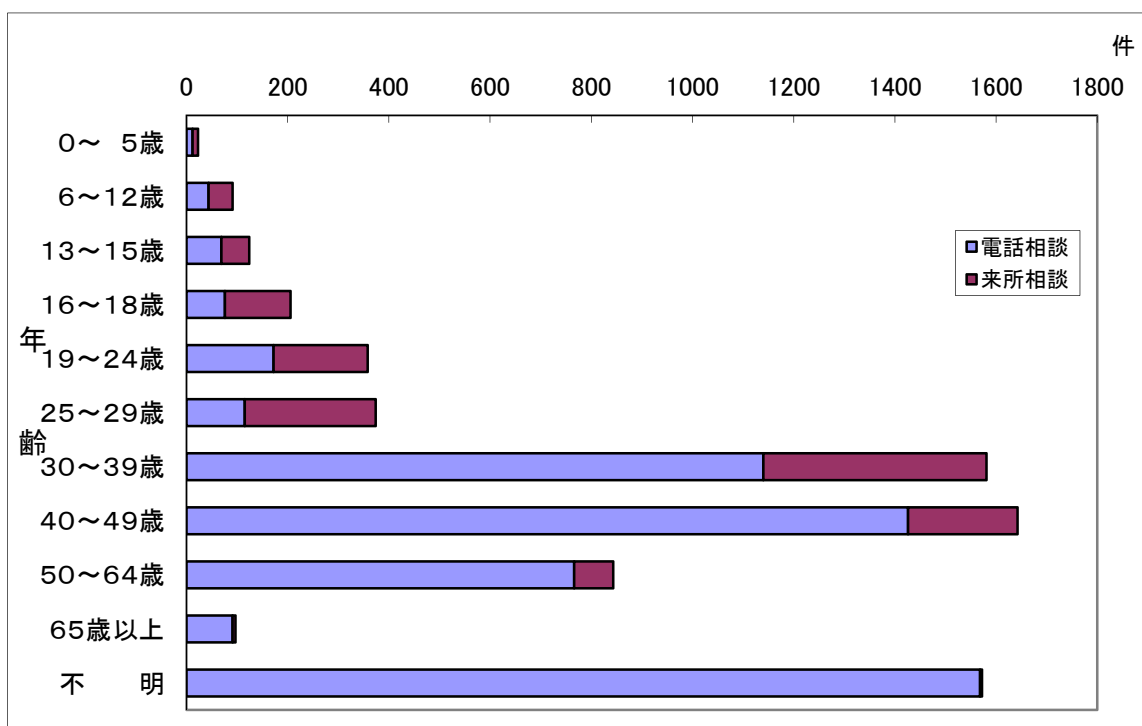
来所相談は原則として予約制をとっているが、本人または家族・関係者が直接窓口に来所した場合も対応している。

表3 電話相談・来所相談の年齢別状況

年齢区分	相談区分				合計	
	電話相談		来所相談		件数	%
	件数	%	件数	%		
0～5歳	12件	0.2%	11件	0.8%	23件	0.3%
6～12歳	44	0.8	47	3.3	91	1.3
13～15歳	69	1.3	55	3.8	124	1.8
16～18歳	76	1.4	130	9.1	206	3.0
19～24歳	172	3.1	186	13.0	358	5.2
25～29歳	115	2.1	259	18.1	374	5.4
30～39歳	1,140	20.8	441	30.8	1,581	22.9
40～49歳	1,426	26.0	216	15.1	1,642	23.7
50～64歳	766	14.0	77	5.4	843	12.1
65歳以上	91	1.7	6	0.4	97	1.4
不明	1,568	28.6	4	0.3	1,572	22.7
合計	5,479	100.0	1,432	100.0	6,911	100.0

件数は延件数

図1 電話相談・来所相談の年齢別状況



来所相談は、通常の業務の中で相談課職員が対応している。必要に応じ所長または嘱託医（精神科医）の診察を実施している。

平成 23 年度の相談件数(延件数)は 1,432 件と平成 22 年の 1,452 件より若干減少した。

年齢区分別では、30～39 歳が 441 件 (30.8%) と最も多く、次いで 25～29 歳が 259 件 (18.1%)、40～49 歳が 216 件 (15.1%) となっている。20 代までの相談が 688 件 (48.0%) を占めており、65 歳以上の相談は 6 件 (0.4%) と非常に少ない。(表 3、図 1)。

相談内容別では、「性格・行動上の悩み」が 324 件 (22.6%) と最も多く、次いで「社会復帰・デイケアの問題」186 件 (13.0%)、「家庭内の問題」164 件 (11.5%) と続いている(表 4、図 2)。

新来相談の来所経路は、男女ともホームページや口コミにより「直接」来所してくる場合が 160 件と一番多い。次いで「ハローワーク」17 件、「施設・学校」16 件の順になっている(表 5)。

診断別件数では、医師の診察を必要としなかったり、診断保留の状態で継続的な関わりを続けている相談が 705 件 (49.2%) と最も多い。診断された方では、統合失調症が 273 件 (19.1%)、双極性感情障害が 180 件 (12.6%)、神経症 147 件 (10.3%) となっている(表 6)。

処遇としては、「継続面接」が 878 件と最も多く、次いで「助言」の 260 件となっている。相談後、他機関に紹介した件数は 24 件で、主な紹介先として「医療機関(主に精神科)」が 17 件と最も多い(表 8)。

図2 電話相談・来所相談の相談内容別状況

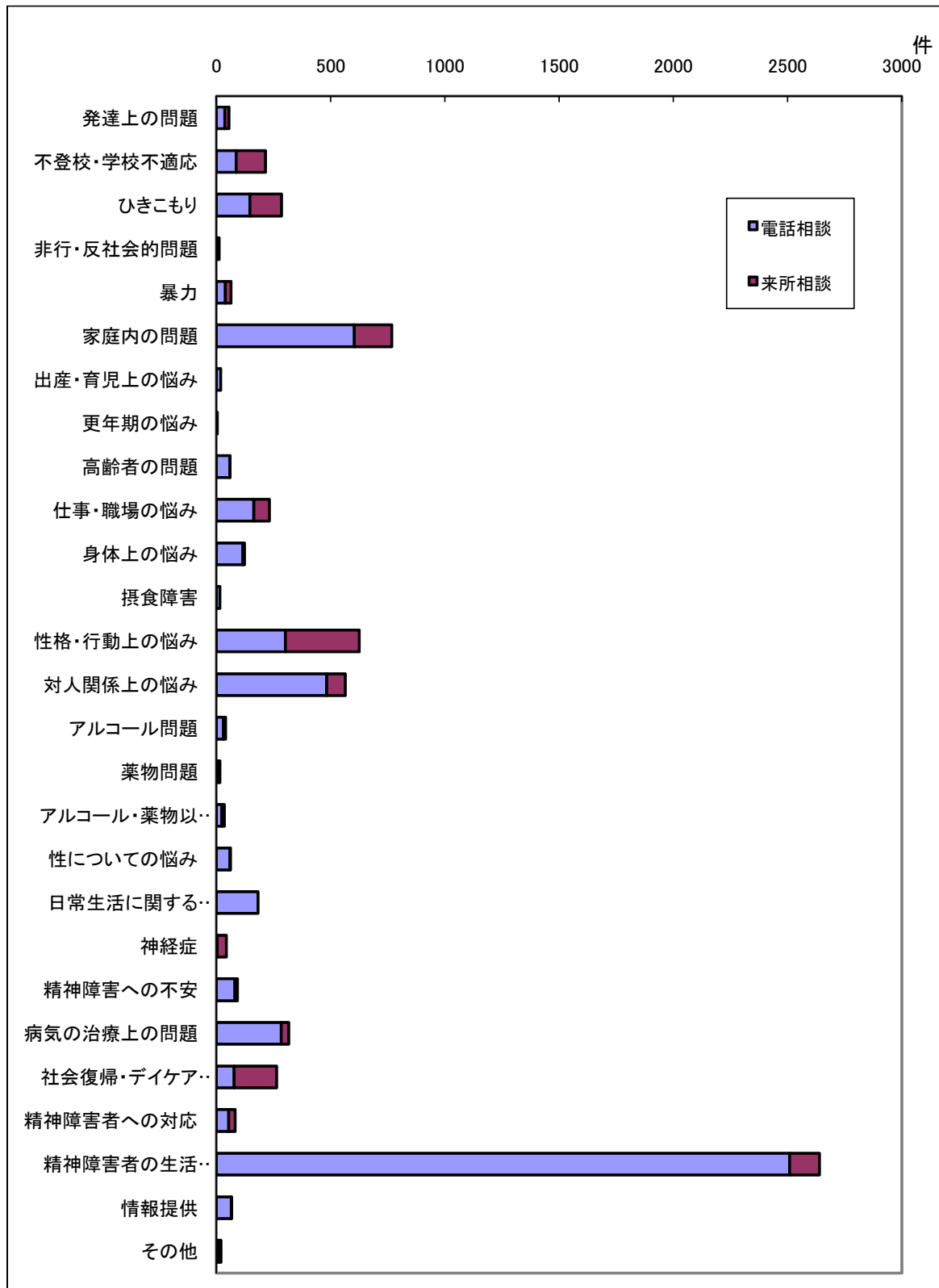


表4 電話相談・来所相談の相談内容別状況

相 談 内 容	相 談 区 分				合 計	
	電 話 相 談		来 所 相 談		件数	%
	件数	%	件数 (実)	%		
発 達 上 の 問 題	37 件	0.7 %	19 件 (8)	1.3 %	56 件	0.8 %
不 登 校 ・ 学 校 不 適 応	87	1.6	128 (45)	8.9	215	3.1
ひ き こ も り	147	2.7	138 (35)	9.6	285	4.1
非 行 ・ 反 社 会 的 問 題	1	0.0	12 (4)	0.8	13	0.2
暴 力	40	0.7	24 (12)	1.7	64	0.9
家 庭 内 の 問 題	604	11.0	164 (39)	11.5	768	11.1
出 産 ・ 育 児 上 の 悩 み	19	0.3	0	0.0	19	0.3
更 年 期 の 悩 み	5	0.1	0	0.0	5	0.1
高 齢 者 の 問 題	59	1.1	1 (1)	0.1	60	0.9
仕 事 ・ 職 場 の 悩 み	164	3.0	68 (20)	4.7	232	3.4
身 体 上 の 悩 み	116	2.1	7 (4)	0.5	123	1.8
摂 食 障 害	16	0.3	0	0.0	16	0.2
性 格 ・ 行 動 上 の 悩 み	302	5.5	324 (50)	22.6	626	9.1
対 人 関 係 上 の 悩 み	483	8.8	82 (15)	5.7	565	8.2
ア ル コ ー ル 問 題	30	0.5	11 (6)	0.8	41	0.6
薬 物 問 題	13	0.2	3 (3)	0.2	16	0.2
ア ル コ ー ル ・ 薬 物 以 外 の 依 存	24	0.4	11 (7)	0.8	35	0.5
性 に つ い て の 悩 み	60	1.1	2 (2)	0.1	62	0.9
日 常 生 活 に 関 す る 心 配 ・ 不 安	182	3.3			182	2.6
神 経 症	3	0.1	41 (9)	2.9	44	0.6
精 神 障 害 へ の 不 安	82	1.5	11 (6)	0.7	93	1.3
病 気 の 治 療 上 の 問 題	284	5.2	33 (14)	2.3	317	4.6
社 会 復 帰 ・ デ イ ケ ア の 問 題	78	1.4	186 (20)	13.0	264	3.8
精 神 障 害 者 へ の 対 応	54	1.0	29 (13)	2.0	83	1.2
精 神 障 害 者 の 生 活 上 の 問 題	2,510	45.8	130 (16)	9.1	2,640	38.2
情 報 提 供	66	1.2	1 (1)	0.1	67	1.0
そ の 他	13	0.2	7 (3)	0.5	20	0.3
合 計	5,479	100.0	1,432 (333)	100.0	6,911	100.0

件数は延件数(実件数)

表5 新来相談の経路別状況

経路	性別		合計
	男	女	
直接	83 件	77 件	160 件
医療機関（精神科）	5	8	13
医療機関（一般科）	1	2	3
県保健福祉センター・金沢市福祉健康センター （保健所）	3	1	4
児童相談所	1	2	3
県保健福祉センター・金沢市福祉健康センター （福祉事務所）	2	0	2
児童・民生委員	0	0	0
施設・学校	11	5	16
ハローワーク （職業安定所・ジョブカフェ石川）	9	8	17
警察	2	0	2
県庁・市町役場	0	2	2
その他の相談機関	3	4	7
こころの相談ダイヤル	0	1	1
その他の電話相談	2	2	4
センター事務所電話相談	0	0	0
その他	2	2	4
合計	124	114	238

件数は延件数

表6 来所相談の診断別状況

診断名		来所者区分		新 来 相 談 件数	繰り越し・再来 件数	継 続 件数	合 計	
		件数	件数				件数	%
器 質 性 精 神 障 害	神 経 梅 毒	0	0	0	0	0	0	0.0
	脳 血 管 性 障 害	0	0	0	0	0	0	0.0
	初老期及び老年期認知症	0	0	11	11	0	11	0.8
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0.0
症 状 性 精 神 病		0	0	0	0	0	0	0.0
精 神 中 毒 性 障 害	ア ル コ ー ル 症	1	0	0	0	1	1	0.1
	そ の 他	0	1	0	0	1	1	0.1
統 合 失 調 症		15	22	236	273	0	273	19.1
双 極 性 感 情 障 害		25	16	139	180	0	180	12.6
非 定 型 精 神 病		0	1	2	3	0	3	0.2
妄 想 状 態		0	0	0	0	0	0	0.0
反 応 性 精 神 病		0	0	0	0	0	0	0.0
そ の 他 分 類 困 難 な 精 神 病		0	0	0	0	0	0	0.0
神 経 症		8	7	132	147	0	147	10.3
心 身 症		0	0	0	0	0	0	0.0
性的機能障害及び性欲異常		0	0	0	0	0	0	0.0
児童期神経性習癖と行動異常		0	1	0	1	0	1	0.1
不 登 校 ・ 家 庭 内 暴 力		0	0	0	0	0	0	0.0
小 児 自 閉 症		2	5	36	43	0	43	3.0
て ん か ん		2	1	26	29	0	29	2.0
精 神 遅 滞		0	3	19	22	0	22	1.5
そ の 他		5	2	7	14	0	14	1.0
未 診 断 ・ 診 断 保 留		179	36	490	705	0	705	49.2
異 常 な し		1	0	1	2	0	2	0.1
合 計		238	95	1,099	1,432	0	1,432	100.0

件数は延件数

表7 処遇別相談件数(電話相談)

区 分	傾聴・助言	センター (来所相談) へ紹介	他機関紹介	その他	再連絡	合 計
件 数	5,128	175	140	6	30	5,479
%	93.5%	3.2%	2.6%	0.1%	0.5%	100%

件数は延件数

表8 処遇別相談件数(来所相談)

処遇状況		来所者区分		繰り越し・再来	継 続	合 計			
		新 来 相 談	新 来 相 談						
助	言	148	件	22	件	90	件	260	件
診	察	16		3		80		99	
特殊 援助	継続面接(又は治療)	71		53		754		878	
	デ イ ・ ケ ア	1		15		154		170	
	そ の 他	2		2		21		25	
合 計		238		95		1099		1,432	
(再掲)診断書発行		4		0		10		14	
(再掲) 紹介	医 療 機 関	5		0		12		17	
	保 健 所	1		0		0		1	
	福 祉 関 係	1		0		1		2	
	教 育 機 関	0		0		0		0	
	そ の 他	1		0		2		3	
	計	8		0		15		23	

件数は延件数

(5) 特定相談指導事業

ア アルコール関連問題相談・薬物関連問題相談事業

(ア) 相談状況

表1 相談状況

区 分	来 所 相 談			電 話 相 談		
	計	男	女	計	男	女
アルコール問題	42 (9)	4 (3)	38 (6)	30	11	19
薬 物 問 題	7 (6)	2 (2)	5 (4)	13	6	7
アルコール ・薬物以外	11 (7)	2 (2)	9 (5)	24	8	16
計	60 (22)	8 (7)	52 (15)	67	25	42

件数は延人数（実人数）

(イ) アルコール関連問題研修会・薬物関連問題相談担当者研修会

* 研修内容についてはP16 参照

イ 思春期相談指導事業

(ア) 相談状況

表2 思春期相談件数（相談対象者が13歳～24歳の相談を指す）

区 分	男	女	合 計
電 話 相 談	191 件	126 件	317 件
来 所 相 談	127	244	371
合 計	318	370	688

件数は延件数

(イ) 思春期精神保健関係機関研修会

* 研修内容についてはP17 参照

(6) 組織育成

平成 23 年度に、当センターが直接かかわりをもった組織は、依存症自助グループ(石川県断酒連合会、AA、アラノン、家族の回復ステップ12、GA等)、精神障害者家族会(石川県精神障害者家族会連合会)、石川県精神保健福祉協会、石川県精神障害者支援事業所連絡協議会、石川県メンタルヘルスボランティア連絡協議会の各団体である。

それぞれに対するかかわりの回数、参加人数は表1のとおりである。

表1 協力組織へのかかわり

対 象	回 数	参加人数
石 川 県 断 酒 連 合 会	9	271
A A グ ル ー プ 等	10	201
小 計	19	472
石 川 県 精 神 障 害 者 家 族 会 連 合 会	19	328
石 川 県 精 神 保 健 福 祉 協 会	20	938
石川県精神障害者支援事業所連絡協議会	5	78
石川県メンタルヘルスボランティア連絡協議会	5	185
小 計	49	1,529
合 計	68	2,001

ア 依存症自助グループ

(ア) 石川県断酒連合会

石川県断酒連合会は、昭和44年「北陸断酒新生会」として結成され、昭和58年「石川県断酒連合会」に名称が変更された。昭和56年以降、当センターは例会の会場を月1回提供し、職員が参加していたが、ここ数年は、独自で例会を開催されてきた。

平成23年度末で「石川県断酒連合会」は解散されたが、金沢市、七尾、小松の各地域の断酒会は活動を継続している。当センターとしては日頃の情報交換、一泊研修会、北陸ブロック研修会等を通して活動支援を行なっている。

(イ) AA 等

石川県では昭和63年にAA金沢グループが誕生し、現在は7グループが20ヶ所で活動している。職員が日頃の情報交換や、オープンスピーカーズミーティング、オープンステップミーティングに参加することで、活動支援を行なっている。

イ 精神障害者家族会

(ア) 石川県精神障害者家族会連合会（石家連）

精神障害者家族会は昭和 48 年 6 月頃より石川県内の保健所単位に地域家族会として結成され、10 家族会（会員数約 400 人）をもって昭和 49 年 2 月に連合会として発足した。

その後、地域家族会の統合を経て平成 23 年度現在では 13 地域家族会と 3 病院家族会、1 施設家族会で連合会を組織し、会員は 265 名である。

表 2 石家連へのかかわり

内 容	回 数	参加人数
総会と講演会	2	48
精神障害者家族会と病院長等との懇談会 精神保健福祉協会との共催	1	70
行政との懇談会	1	22
常務理事会、理事会等	18	175
研修会等	2	41

(イ) 地域家族会

地域家族会の育成援助は保健所が中心になってかかわりをもっている。

ウ 石川県精神障害者支援事業所連絡協議会

平成 5 年度から県内の精神障害者小規模作業所指導員の研修の場として、石家連の中に作業所部会を設けて、作業所運営の検討、アンケート調査の実施、パンフレットの作成等の活動を行なってきた。

平成 7 年度作業所数が大幅に増加し、従事する指導員数も多くなってきたことから、平成 8 年 5 月に県内の小規模作業所で組織する石川県精神障害者支援事業所連絡協議会が発足し、石家連から分離して月 1 回の例会や、役員会、勉強会等の活動を行っている。

平成 23 年度、県内の精神障害者支援事業所（19 ケ所）が参加している。また、作品展を県庁展望ロビーにおいて開催、石川県障害者ふれあいフェスティバルでは、各事業所の製品販売を行った。当事者への支援力向上を図るため、研修を行っている。

エ 石川県精神保健福祉協会

昭和 35 年 10 月に石川県精神衛生協会が結成され、平成 3 年 6 月、名称を石川県精神保健協会、平成 10 年 6 月に石川県精神保健福祉協会と改めている。平成 23 年度会員は、個人会員 231 名、団体会員 25 団体、特別会員 12 病院となっている。

表 3 精神保健福祉協会へのかかわり

期 日	内 容	対 象	人 数
23. 5. 13	表彰審査委員会	委員	5 人
23. 7. 13～ 24. 3. 7まで	心の健康づくり講師派遣事業	地域、学校、職域等 の団体	6 回 213 人
23. 5. 27	理 事 会	理事、監事等	11 人
24. 3. 9	〃	〃	11 人
23. 6. 18	総 会	会員、関係者等	61 人
〃	精神保健講演会 「現代青年の自立支援について一思春期 青年期のつまづきをどう支えるか」 首都大学東京 都市教養学部教授 永井 徹	会員、一般	91 人
23. 7. 10	精神科看護職員等研修会	病院関係者	146 人
23. 12. 9	精神保健福祉研修会 「摂食障害の理解と対応」 大阪市立大学大学院医学研究科 神経精神医学教授 切池 信夫	関係機関職員、一般	107 人
23. 11. 17	精神障害者家族会と病院長等との懇談会 「最近の当院におけるデイケアの利用状 況について」 石川県立高松病院 栃本 真一	病院長等、家族会、 行政、保健所	73 人
24. 3. 4	地域精神保健専門委員会	関係機関職員、一般	111 人
24. 2. 11	精神保健福祉研究会 シンポジウム「子どもの豊かな育ちのた めに」 司会 金沢大学准教授 荒木 友希子	会員、一般	86 人
24. 3. 6	産業と精神保健専門委員会	委員	4 人
24. 3. 12	会報編集委員会	委員	4 人
23. 9. 30	教育と精神保健専門委員会	委員	7 人
23. 12. 8	〃	委員	8 人

計 20 回 938 人

オ 石川県メンタルヘルスボランティア連絡協議会

昭和 63 年に当センターでメンタルヘルスボランティア講座が開催された。引き続き保健所が中心となって地域住民に対し、継続的に教育が行われており、ボランティアを志す人達がグループを作って積極的な活動がなされるようになった。平成 11 年に連絡会が開催され、平成 13 年度に「石川県メンタルヘルスボランティア連絡協議会」が発足。平成 23 年度には県内のグループ数は 8 となっている。

(7) 在宅精神障害者社会復帰促進事業（田園クラブ）

目的：在宅精神障害者（主として統合失調症）の社会参加を促進するため、話し合い、スポーツ、レクリエーション、手工芸などの活動を通じて、対人関係の改善、社会性や生活技能の向上を図ることを目的にグループ活動を行う。

ア 実施状況

表1 田園クラブ実施状況

実施回数	実施頻度	実人数	延人数	一回あたりの参加人数
97回	週2回	22人（男13人） （女9人）	793人	8.2人

表2 年齢別参加者状況

25～29歳	30～39歳	40～45歳	45～49歳	計
8人	7人	6人	1人	22人

表3 来所経路別参加者数

直接	公的病院からの紹介	私立病院からの紹介	学校からの紹介	計
7人	4人	10人	1人	22人

表4 保健所管内別参加者数

石川中央	河北地域センター	金沢駅西	金沢泉野	金沢元町	計
3人	4人	7人	5人	3人	22人

表5 参加者の他機関利用状況

就労 アルバイト	地域活動支援センター 就労移行支援B型	社会適応訓練	利用なし	その他	計
4人	5人	1人	11人	1人	22人

表6 プログラム別実績

内 容	作 業 療 法						レクリエーション 療法				集 団 活 動							個 別 相 談	合 計	
	クラフト	料理・お菓子作り	コラージュ	茶道・書道	フラワーアレンジメント	小計	スポーツ	季節行事	マイフェバリットミュージック	小計	話し合い	所外活動	コミュニケーション講座	知りたいことセミナー	精神障害者ジョブガイダンス	施設見学	その他			小計
実施回数 (1単位2h)	25	22	4	2	2	55	13	3	6	22	12	61	12	3	2	2	8	100	12	189
参加者	161	163	29	11	13	377	88	21	54	163	91	447	75	25	13	18	34	703	105	1348

イ 家族へのかかわり

平成23年度は全体の家族教室を3回実施。教室後に担当スタッフと家族による個別懇談会を行った。

月 日	内 容	参加者数
平成23年 6月28日(木) 13:30~16:00	<ul style="list-style-type: none"> ミニレクチャー「親なき後にそなえる」 家族同士の話し合い 	12人
平成23年 11月29日(火) 13:30~16:00	<ul style="list-style-type: none"> ミニレクチャー「社会資源を知ろう 住まい編」 話し合い 	7人
平成24年 3月1日(木) 13:30~16:00	<ul style="list-style-type: none"> ミニレクチャー「精神障害のリハビリテーション」 講師 関京子氏(作業療法士) 家族同士の話しあい 	11人

(8) 青年期心の健康づくり推進事業

青年期の、いじめや家庭内暴力、不登校、ひきこもりなどが社会問題化してきている中で、平成13年4月から、県全体の取り組みとして当該事業が始められた。

当該事業は、青年期の問題のうち主にひきこもりや不登校を対象とし、総合的な対応を行うために、地域の保健所や関係機関と連携を取りながら、以下の活動を行った。

ア 個別相談

特定相談日を設けることなく、通常の相談業務の中で、随時相談に応じる形を取っている。

表1 ひきこもり・不登校相談件数

区 分	件数(延)
電 話 相 談	147 件
来 所 相 談	178 件
合 計	325 件

※ 相談の背景にひきこもり状態があるものを含む

イ ひきこもり家族教室

対象：概ね18歳から35歳までの『ひきこもり』問題で悩む県内の家族

目的：家族がひきこもりに関する正しい理解を得ることで、解決の糸口とする。

家族同士による体験の語り合い、意見交換を通じて、家族の不安・焦り・孤立感を軽減する。

家族が安心できる場の提供。

内容：1回2時間とし、タイムスケジュールに従って、最初に「参加のルール」を読み合わせ、「気分調べ」、各テーマで「話題提供（ミニ講義）」を行った後、意見交換を目的とした「家族情報交換会」を行った。

表2 家族教室の開催状況

第1回	話題提供 「ひきこもりとは」 家族情報交換会 4人
第2回	話題提供 「ひきこもりの心理」 家族情報交換会 4人
第3回	話題提供 「家族にできること」 家族情報交換会 1人
第4回	家族情報交換会 2人
参加者数	延べ11人

ウ ひきこもり家族交流会

当センターの家族教室への参加家族を対象に、引き続き家族同士が集まることのできる場を持つことを目的とする。定員は特に定めていない。

開催回数は年3回で、当センターを会場とし、1回の時間は2時間とした。

センターからは、2～3人の職員が参加し、家族の自主的な話し合いができるような援助、必要に応じて情報提供を行った。

表3 家族交流会の開催状況

回数	開催月日	参加家族数	内容
第1回	平成23年 5月9日(月)	4家族4人	① 気分しらべ ② 参加ルールの確認 ③ 家族同士の話し合い ④ まとめ ⑤ チェックアウトとしての感想
第2回	平成23年 9月2日(月)	2家族2人	
第3回	平成23年 12月12日(月)	1家族1人	

エ 青年期グループ(ひきこもり当事者グループ)

目的：ひきこもりなど対人関係で悩む人に安心して過ごせる場を提供し、対人交流を通して自信の回復と対人技術の向上を図る。

対象：明らかな精神疾患や発達障害が背景にない、概ね18歳から35歳までの者

日 時：月 3 回 13:30～15:30 の 2 時間 年 36 回開催

参加者：登録者 17 人（男性 17 人女性 0 人）延べ 264 人

定 員：10 名程度

内 容：お菓子作り、スポーツ、ビデオ鑑賞など参加者が話し合いによって決める

オ ひきこもり訪問支援者養成講座

目 的：ひきこもりに悩む人やその家族に対して、相談や訪問などを通して支援を行う「訪問支援者」を養成する。

対象者：ひきこもり支援に携わる関係機関職員。ひきこもりを経験し克服した若者や家族、及びボランティア等のうち、ひきこもり支援活動に携わる意欲のある者。

* 研修内容については P 17 を参照

カ ひきこもり対策地域ネットワーク会議（全体会議）

目 的：ひきこもり対策に携わる関係機関の連携を深めるとともに、よりよい支援体制の構築に向けて共通理解をはかる。

参加者：医療、保健、福祉、教育、就労支援の各関係機関職員 22 名

日 時：平成 24 年 2 月 24 日 13 時 30 分～16 時 30 分

会 場：こころの健康センター 研修室

内 容：各機関からの状況報告と意見交換

講師（山梨県立精神保健福祉センター所長近藤直司：ひきこもり訪問支援者養成講座と同日実施）からのコメント

(9) ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業

平成13年10月のDV防止法の施行に先立ち、平成13年4月から暴力を止めたい男性が相談できる場所として、個別相談窓口を開設している。

表1 DV個別相談件数

区 分		計	面接相談	電話相談
DVに関する相談件数		60件	24件(19)	36件
相談者内訳	加害男性	24件	17件(13)	7件
	加害女性	4件	3件	1件
	被害女性	26件	4件(4)	22件
	被害男性	4件	2件(1)	2件
	加害男性の家族等	3件	1件(1)	2件
	被害女性の家族等	1件	1件	0件
	その他	3件	1件	2件

※ () は実件数

(10) 自殺予防対策推進事業

平成10年より自殺者数が急増しており、自殺の予防対策として自死遺族交流会及びこころの緊急支援事業を実施した。

ア 自死遺族交流会

家族を自殺で亡くした方達が、苦しい気持ちを語りあったり、傾聴し、互いに支え合ったりしていく場として、平成18年11月より「自死遺族交流会」を開催している。

日 時 奇数月の第1日曜日 14:00～16:00
場 所 金沢市内
実施回数 6回
参加人数 実8人 延べ31人

イ こころの緊急支援事業

石川県こころの緊急支援事業では、県内の学校で重大な事件事故が起こった際、CRT(クライシスレスポンスチーム)を派遣し、子どもたちに「こころのケア」を行う学校を側面から支援するものです。

全国では平成15年山口県でスタートし、現在6県が実施しており、石川県は平成21年9月から取り組んでいる。

CRT派遣業務概要

目的	学校で危機的な事件事故が発生した場合、CRTを派遣することにより、二次被害の拡大防止とこころの応急処置を行う
対象	石川県内の小・中・高等学校及び特別支援学校等に所属する子ども達の多くが心に傷を受ける可能性がある事件・事故等
派遣メンバー	石川県こころの緊急支援チームに登録された専門家数名 (精神科医、臨床心理士、精神保健福祉士、保健師等)
支援内容	二次被害の拡大防止とこころの応急処置 ①被害評価とケアプラン策定の手助け ②教職員への助言、心理的サポート ③保護者への心理教育 ④子どもと保護者への応急対応 ⑤その他
派遣期間	3日間以内
派遣依頼方法	所轄の教育委員会または当該学校長からCRT専用電話で派遣要請 専用電話 080-2951-5574 *派遣要請は24時間受け付けるが、個人からの依頼には対応しない。事業の詳細に関する問い合わせ：石川県こころの健康センター
派遣の判断基準	派遣対象となる事件・事故の規模は、表「学校危機のレベル」で中規模（レベルⅢ弱からⅣ）。ただし、同じような事例に見えても子ども達が受ける衝撃度は異なりますので、お問い合わせください。
受け入れについて	・経費の負担なし。 ・食事など身の回りの心配不要。 ・専用の控え室の用意。

研修内容についてはP17参照。

ウ 自殺危機初期介入技術研修

地域のあらゆる分野の関係者に、自殺危機を察知し、未然に自殺を防ぐことができる技術を身につけ、自殺予防ゲートキーパー（門番）になっていただけるよう、各圏域毎に自殺危機スキル研究会認定講師による自殺危機初期介入スキルワークショップを開催した。

また、今後地域で講師として活動して下さる方を養成するための、自殺危機初期介入技術リーダー養成研修を行った。

参加状況

(単位：人)

地区	実施日	司法書士	市 町				県			病 院			警 察	職 安	消 防	福祉事業所等	計
			保 健 師	事 務	ワ ー カ ー 等	ソ ー シ ヤ ル	保 健 師	ワ ー カ ー 等	ソ ー シ ヤ ル	看 護 師	ワ ー カ ー 等	ソ ー シ ヤ ル					
石川中央	5月12日	1	5	1	3	1			4	2	1	1			2	21	
能登中部	6月10日	1	3	4	3	2			3	2			1	1	1	20	
能登北部	7月29日	1	3	2	5	1	3		2	2					1	20	
能登北部	11月26日	1	6		1	2	1	2	1	1					5	20	
金沢	9月14日	4	1	1	5	1	1		4	1					1	20	
リーダー	9月15日	1	2		5	1	1		1	2					3	16	
計		6	20	8	22	8	6	2	15	10	1	1	1	17	117		

エ アルコール・薬物、ギャンブル依存症教室

アルコール・薬物、ギャンブル等の依存と自殺には密接な関係があると指摘されている。

平成22年度よりアルコール・薬物、ギャンブル依存症者、家族、支援者等に対し、依存症に対する理解を深め、対応を身につけ適切な支援を行えるようになることを目的として依存症教室を行っており、平成23年度は6回開催した。

参加人数

(単位：人)

開催日	テーマ	アルコール・薬物 依存症教室 (10:00～12:00)	ギャンブル 依存症教室 (13:00～15:00)	計
5月16日	依存症って何？	48	23	71
7月11日	なぜ、やめられないのか	61	25	86
9月12日	回復のために何ができるのか	56	33	89
11月21日	どうしたらやめられるのか	45	26	71
1月16日	アディクションの問題から周囲が受ける影響	45	25	70
2月20日	依存症に伴う困難	44	21	65
計		299	153	452

場 所 石川県こころの健康センター 2階研修室

講 師 新阿武山クリニック ソーシャルワーカー 西川 京子

オ こころの健康と多重債務などの困りごと相談会

平成24年3月18日（土）、七尾市パトリアで県司法書士会、（社）日本精神科看護技術協会石川県支部、（社）日本精神保健福祉協会石川県支部、石川県能登北部保健福祉センターの協力により「こころの健康と多重債務などの困りごと相談会」、看護師による血圧測定、アルコール体質チェック、ストレスチェックを行うとともに、来店者にチラシやパンフレットを配布した。こころの健康に関する相談13件、法律相談3件、健康チェック44件があった。

(11) 子どもの心のケアネットワーク事業

近年、ひきこもりや小児うつ、摂食障害、発達障害など様々な子どもの心の問題について、保護者はもとより保育所や学校においてはその対応に苦慮している。

そこで、子どもの心の問題に対し、医療・教育・福祉・保健が同じ認識のもとで連携し、子どもの健全な成長と発達を見守り続けることができる支援体制づくりを目標に平成20年度から取り組んでいる。

子どもの心の問題について地域で安心して相談できる、また、医療と教育がより連携できる体制づくりをめざして各事業を行った。

ア いしかわ子どもの心のケアネットワーク包括体制構築事業

発達障害やうつの疾患及び摂食障害等の子どもの心の健康問題について、子どもや家族等に対する確で継続的な支援を行うことを目指し、医療・教育・福祉・保健の関係機関や関係団体等が連携した支援を行うためのネットワークを構築する。

会議名	事業主体	出席者	実施内容
包括体制構築 連携会議 (1回)	県少子化対策監 室	医療・教育・ 福祉・保健関 係委員	事業概要と課題及び今後の計画案に ついて
ケアネットワ ーク検討会 (3回)	県少子化対策監 室	医療・教育・ 福祉・保健実 務担当者等	事業概要 事業の進捗状況について 24年度計画について
地域ネットワ ーク検討会 (講演と事例 検討会等)	南加賀保健福祉 センター	医療・教育・ 市町・相談機 関・就労機関 関係者	【学習会と事例検討会】5回 【研修会】「発達障害児・者の支援 ～親支援を考える～」 講師：宮城県子ども総合センター 所長 本間 博彰
	石川中央保健福 祉センター	教育・保育・ 保健関係者	【子どものメンタルヘルス出前講 座】 小学校PTA、教員、学校評価委 員、中学生等を対象に子どものメン タルヘルス講座を開催した 講師；保健福祉センター職員等

地域ネットワーク検討会 (講演と事例検討会等)	能登中部保健福祉センター	教育・医療市町・児相	【生徒のメンタルヘルスケアネットワーク会議】 助言 公立能登総合病院 精神センター長 平松 茂 地域と学校関係者で中高生のメンタルヘルスに関する情報交換を行い、困難事例への対応について考えた。
	能登北部保健福祉センター	教育・市町関係者等	【母子保健担当者連絡会】 話題提供 「就学後の専門相談の状況からとらえた早期発見・早期支援の必要性～学校からのメッセージ～」 提供者 七尾特別支援学校輪島分校 藤田 実千代 七尾特別支援学校珠洲分校 室石 由紀子

イ 子どものこころの相談事業

子どもの心の問題で悩む家族や関係者が安心して相談でき、的確な支援機関を紹介するなどコーディネート機能を充実する。

① 電話相談 (延)

年代	性別	件数(延)	相談者内訳		
			父	母	その他 ※
幼児	男	4	0	2	2
	女	5	0	3	2
小学生	男	17	2	11	4
	女	15	1	11	3
中学生	男	16	1	5	10
	女	13	1	10	2
高校生	男	21	3	17	1
	女	40	3	31	6
計	男	58	6	35	17
	女	73	5	55	13
合計		131	11	90	30

※ 学校、その他の家族、医療機関など

② 来所・出張相談

年代	性別	件数 (実)	件数 (延)	相談内訳 (重複あり)			
				父	母	本人	その他※2
幼児3	男	4	6	0	5	5	2
	女	1	1	0	1	1	0
小学生	男	4	6	0	5	3	1
	女	7	19	0	15	10	11
中学生	男	8	13	4	9	6	2
	女	4	19	3	16	14	4
高校生	男	8	9	2	7	2	1
	女	16	51	9	38	35	7
その他※1	男	0	0	0	0	0	0
	女	2	18	11	0	18	0
計	男	24	34	6	26	16	6
	女	30	108	23	70	78	22
合 計		54	142	29	96	94	28

※1：義務教育後高校等に在籍していないもの※2：学校、その他の家族、医療機関など

③ 来所相談内容 (実)

年代	不登校 (不適応)	ひきこ もり	発達上の 問題	性格・ 行動	いじめ・子 どもの不安	非行	症状 (チック、 解離など)	その他 ※	計
幼 児	0	0	3	0	0	0	0	2	5
小学生	6	0	3	0	0	0	2	0	11
中学生	8	0	0	1	0	0	2	1	12
高校生	14	1	0	2	0	2	4	1	24
その他	0	1	0	0	0	0	1	0	2
計	28	2	6	3	0	2	9	4	54

※ 身体上の悩み、虐待など

④ 来所経路 (実)

年代	直 接	医療機関か らの紹介	学校から の紹介	その他	計
幼 児	4	0	0	1	5
小学生	7	2	1	1	11
中学生	6	2	2	2	12
高校生	12	2	7	3	24
その他	1	1	0	0	2
計	30	7	10	7	54

⑤ 処遇状況（実）

年代	対応について助言	継続面接	他機関へ紹介 (病院等)	他機関との 連携※再掲	計
幼 児	3	2	0	1	5
小学生	5	5	1	1	11
中学生	5	5	2	2	12
高校生	11	13	0	2	24
その他	0	2	0	0	2
計	24	27	3	6	54

※ 連携先 児童相談所、学校、市町保健センター

ウ 子どもの心の支援事例検討会

目 的：継続支援を行うために支援内容を検討するとともに、情報を共有することにより、関係者の一貫した支援を実施する。

参集者：スーパバイザー（助言者）、保育所、教育、保健福祉センター、児童相談所等関係者

会議名	開催回数	出席者	実施内容
教育関係 検討会	年5回 (こころの健康 センター)	延69人 (教育関係)	助言者： ほんだクリニック院長 本田 徹
	年2回（出前型） (南加賀保健福 祉センター、 能登中部保健 福祉センター)	延16人 (教育関係)	助言者： 県立高松病院 栃本 真一 医王病院 大野 一郎
保育関係 検討会	年5回 (こころの健康 センター)	延54人 (保育関係)	助言者： かほく市緑が丘保育園 園長 日野 和美 こころの健康センター 次長（小児科医師） 支援課長（心理職）

エ 気になる子どもへの早期介入検討会（専門家チーム相談・市町事例検討会）

保育園等で気になる子に対して関係者が共通理解のもとで対応できるように、医師や教育関係者、要保護児童担当者、母子保健担当者がチームを組んで相談に巡回する。

実施日・会場	出席者	実施内容
6月～1月 希望のあった市町及び保育園	こころの健康センター 次長（小児科医）、心理職、少子化対策監室 担当者等	指導箇所数：5市町の18箇所 指導保育園児数：182人

オ 子どもの心の啓発普及研修会

専門的な知識を持った医師及び専門職を養成し、関係者スキルを高めるための研修会を開催する。

①県内で開催した研修会及び出前講座

研修会等	実施日・会場	出席者	実施内容
関係者育成 セミナー	1回目 (7/29・30) 会場：いしかわ 総合スポーツ センター	対象：医療・教育・福祉保健関係者 1回目 延154人	講演：「家族へのアプローチを考える」 講師：ほんだクリニック 院長 本田 徹 講師：広島市子ども療育センター 心療部長 岡田 隆介 事例検討会
	2回目 (11/19・20) 会場：金沢市駅 西すこやかホール	対象：同上 2回目 延98人	講演：「境界とは何かについて考える」 講師：ほんだクリニック 院長 本田 徹 講師：山口県立大学 教授 林 隆 事例検討会
	学習障害に関する研修会	対象：同上 延234人 ※4圏域で開催	講演：「保育所・学校などでとまどっている子どもたちへの理解と対応を考える」 講師：明和特別支援学校 河野 俊寛
出前講座	9回	保護者・教育・保育関係者、生徒	テーマ ・発達障害生徒へのかかわり方 ・気になる子どもへの対応について ・子育てについて ・乳幼児期の親の役割 など

②中央で開催された高度な研修への派遣

研修会等	実施日・会場	出席者	実施内容
子どもの虹情報 研修センター (派遣研修)	2日間 (5/17～18)	こころの健康セン ター医師	テーマ別研修「法律の理解と法的 対応」(児童虐待、人権侵害等)
日本小児学会 (派遣研修)	10/2	医王病院小児科医 こころの健康セン ター医師	子どもの心の診察医専門研修会
国立精神・神経 センター (派遣研修)	3日間 (10/26～28)	石川中央保健福祉 センター保健師	摂食障害看護研修

カ 普及啓発

いしかわ子どもの心のケアネットワーク事業の小冊子やカード、ポスターを配付

「子どものこころの問題に携わる関係者育成セミナー」講演録を300部作成配付

配付先：小児科・精神科協力医療機関、教育機関、保健機関、福祉機関

3 支援課（発達障害支援センター）業務

(1) 発達障害児(者)及び家族等に対する相談支援・発達支援・就労支援

発達障害児(者)に関する相談全般で、1回～数回の相談で終了する相談支援、心理機能の適正な発達を支援し、円滑な社会生活を促進するために発達障害の特性に対応して、継続的に支援する発達支援、就労に関して継続的に支援する就労支援を行っている。

表1 年齢別

年齢区分（歳）		0～3	4～6	7～12	13～15	16～18	19～	不明	合計
相談支援	実人員	16	15	50	32	38	186	20	357(14)人
	延件数	48	71	260	108	182	788	20	1,477(54)件
発達支援	実人員	81	106	76	10	11	45	0	329人
	延件数	1,313	1,586	884	118	143	1,091	0	5,135件

年齢区分（歳）		18歳未満	18歳以上	合計
就労支援	実人員	0	26	26人
	延件数	0	378	378件

() は内数で県外居住者及び居住先不明者の合計

表2 相談支援の主な相談内容

情報提供	家庭生活	健康・医療	教育	保育	療育	進路相談	自立支援	就労	その他	合計
73	429	315	112	5	2	30	1	156	354	1,477件

表3 相談方法

区分	来所	訪問	電話	その他	合計
相談支援	942	13	481	41	1,477件
発達支援	1,332	3,494	256	53	5,135件
就労支援	334	0	40	4	378件
合計	2,608	3,507	777	98	6,990件

その他：メール、FAX、文書等を含む

表4 障害種別

区 分	相談支援	発達支援	就労支援	合計
自 閉 症	74	135	18	227
アスペルガー症候群	24	9	3	36
A D / H D	8	7	1	16
L D	1	1	0	2
そ の 他	32	55	1	88
不明（未診断含む）	218	122	3	343
合 計	357人	329人	26人	712人

自閉症：自閉症及び広汎性発達障害を含む

アスペルガー症候群：高機能自閉症、高機能広汎性発達障害を含む

表5 相談者

区 分	相談支援	発達支援	就労支援	合計
本 人	643	2,732	313	3,688
保 護 者 ・ 親 族	715	2,232	45	2,992
保 育 所 ・ 幼 稚 園	3	0	0	3
小 学 校	3	17	0	20
中 学 校	4	0	0	4
高 等 学 校	6	0	0	6
特 別 支 援 学 校	0	3	0	3
専 門 学 校 ・ 短 大 ・ 大 学	8	0	0	8
援 護 施 設 等	3	43	1	47
保 健 所	1	0	0	1
市 町 保 健 セ ン タ ー	0	2	0	2
行 政	3	15	0	18
医 療 機 関	36	19	2	57
公 共 職 業 安 定 所	6	1	0	7
障 害 者 職 業 セ ン タ ー	8	5	12	25
障 害 者 就 業 ・ 生 活 支 援 セ ン タ ー	4	2	3	9
児 童 相 談 所	2	6	0	8
そ の 他	32	58	2	92
合 計	1,477件	5,135件	378件	6,990件

援護施設等：更生・授産施設、通勤寮、福祉ホーム等

行政：保健所、市町保健センターを除く

表6 支援回数別実人員

区 分	1～10回	11回以上	合計
発達支援（実人員）	158	171	329人
就労支援（実人員）	13	13	26人

表7 支援期間別実人員

区 分	3ヶ月未満	3ヶ月～ 6ヶ月未満	6ヶ月～ 1年未満	1年以上	合計
発達支援（実人員）	17	32	202	78	329人
就労支援（実人員）	1	1	2	22	26人

(2) 精神科医による相談事業

囑託の精神科医による相談事業を月1回実施している。相談後の支援は、センターによる継続支援や、必要に応じて医療機関等への紹介を実施しているが、今年度はすべてセンターでの継続支援だった。

表1 相談事業結果

実 施 回 数		12回
来 所 実 人 員		21人
来 所 延 人 員		21人
年齢別	0 ～ 3 歳	0
	4 ～ 6 歳	2
	小 学 生	0
	中 学 生	3
	1 6 ～ 1 8 歳	2
	1 9 歳 ～	14
	合 計	21
診察結果	障 害 な し	0
	経過観察（判定保留）	0
	自 閉 症	19
	アスペルガー症候群	0
	A D / H D	0
	L D	0
	知 的 障 害	1
	そ の 他	1
合 計	21	
支援内容	センターで継続支援	21
	医 療 機 関 紹 介	0
	療 育 施 設 紹 介	0
	そ の 他 の 機 関 紹 介	0
	他 機 関 で 管 理 中	0

自閉症：自閉症及び広汎性発達障害を含む

アスペルガー症候群：高機能自閉症、高機能広汎性発達障害を含む

(参考)

年度別各支援件数の推移

区分	相談支援	発達支援	就労支援	計
H19	1,080 (294)	1,435 (58)	359 (12)	2,874 (364)
H20	1,725 (299)	1,964 (79)	409 (15)	4,098 (393)
H21	1,478 (343)	2,198 (93)	476 (22)	4,152 (458)
H22	1,664 (358)	2,036 (92)	635 (31)	4,335 (481)
H23	1,477 (357)	5,135 (329)	378 (26)	6,990 (712)

注：() は内数で実人員

(3) 青年期グループ活動

平成 17 年 10 月より、毎週木曜午後 2 時から 4 時まで、青年期を対象としたグループ活動を実施している。

表 1 活動状況

実施回数	実人員	延人員	内 容
47 回	25 人	466 人	SST(対人マナー、社会見学、ストレス解消法、調理実習等)

(4) 就労者グループ活動

平成 22 年 7 月より、第 3 金曜午後 7 時から 9 時まで、就労者を対象としたグループ活動を実施している。

表 1 活動状況

実施回数	実人員	延人員	内 容
12 回	9 人	38 人	談話会等

(5) 親のつどい

平成19年10月より、第2火曜午後1時半から3時半まで、青年期の保護者を対象として実施している。

平成21年12月より、第3水曜午前10時から12時まで、学齢期の保護者を対象として実施している。

表1 実施状況

区分	実施回数	実人員 (家族)	延人員	内 容
青年期	5回	4組	7人	ピアカウンセリング、話し合い、学習会など
学齢期	10回	7組	24人	ピアカウンセリング、話し合いなど

(6) 関係機関等との調整会議

発達障害児(者)支援のネットワークの構築を目的とした会議を開催している。

表1 開催状況

内容	発達障害 全般	療育	医療	教育	保健	福祉
回数	6	4	2	0	0	0

内容	就労	自立支援	その他	合計
回数	6	14	0	32回

(7) 機関コンサルテーション

関係機関に対する障害児（者）への関わり方等についての助言を実施している。

表1 対象機関及び支援内容

区 分		実支援施設数	延支援件数
対象機関	小 学 校	0	0
	中 学 校	1	1
	高 等 学 校	0	0
	特 別 支 援 学 校	0	0
	専 門 学 校 ・ 大 学	0	0
	放 課 後 児 童 ク ラ ブ	0	0
	市 教 育 研 究 所	0	0
	地 域 療 育 等 支 援 事 業 所	1	4
	市 町	2	3
	企 業	1	1
	合 計	5カ所	9件
支援内容	障 害 特 性 の 理 解		1
	指 導 ・ 対 応 方 法 の 助 言		0
	心 理 査 定		0
	事 例 検 討		2
	研 修 会		0
	そ の 他		6
	合 計		9件

(8) 個別支援のための調整会議

関係機関による会議を開催し、障害児（者）に関して、共通認識を図り、よりよい支援を検討している。

表1 年齢別

区 分	0～6歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳	19歳以上	合計
実人員	1	7	4	3	24	39人
延件数	1	9	4	3	49	66件

表2 障害種別

区 分	実支援人員
自 閉 症	25
アスペルガー症候群	2
A D / H D	2
L D	0
そ の 他	5
不明（未診断含む）	5
合 計	39人

自閉症：自閉症及び広汎性発達障害を含む

アスペルガー症候群：高機能自閉症、高機能広汎性発達障害を含む

表3 会議テーマ

内 容	開催回数
家 庭 生 活	3
健康・医療	3
教 育	11
保 育	0
療育支援	0
進路相談	1
自立支援	14
就労支援	33
そ の 他	1
合 計	66回

(9) 普及啓発及び研修

発達障害児（者）の理解及び支援を積極的に進めるため、一般を対象とした普及啓発及び関係機関の職員を対象とした研修会を実施している。

また、関係機関からの講演依頼について、講師を派遣している。

表1 公開講演会及び研修会開催状況

日時	会場	内容	講師	対象及び人数
平成23年 6月8日	いしかわ総合スポーツセンター	発達障害を理解するための研修会(金沢基礎講座) 「気になる子どもたち～どう受け止め、どう理解し、どう関わるのか～」	金沢手をつなぐ親の会 障がい児対象児童クラブ 「すずかけクラブ」 笠合 竜明	放課後児童クラブ指導員等 183人
平成23年 6月22日	能登空港生涯学習センター	発達障害を理解するための研修会(能登基礎講座) 「気になる子どもたち～どう受け止め、どう理解し、どう関わるのか～」	金沢手をつなぐ親の会 障がい児対象児童クラブ 「すずかけクラブ」 笠合 竜明	放課後児童クラブ指導員等 58人
平成23年 7月5日	能登空港生涯学習センター	発達障害を理解するための研修会(能登実践講座) 「気になる子どもたち～どう受け止め、どう理解し、どう関わるのか～」	金沢手をつなぐ親の会 障がい児対象児童クラブ 「すずかけクラブ」 笠合 竜明	放課後児童クラブ指導員等 52人
平成23年 7月12日	いしかわ総合スポーツセンター	発達障害を理解するための研修会(金沢実践講座) 「気になる子どもたち～どう受け止め、どう理解し、どう関わるのか～」	金沢手をつなぐ親の会 障がい児対象児童クラブ 「すずかけクラブ」 笠合 竜明	放課後児童クラブ指導員等 158人
平成23年 8月23日	いしかわ総合スポーツセンター	発達障害を理解するための研修会(金沢会場) 「気になる子どもたち～どう受け止め、どう理解し、どう関わるのか～」	金沢手をつなぐ親の会 障がい児対象児童クラブ 「すずかけクラブ」 笠合 竜明	保育士、幼稚園教諭等 63人
平成23年 9月7日	能登空港奥能登総合事務所	発達障害を理解するための研修会(能登会場) 「気になる子どもたち～どう受け止め、どう理解し、どう関わるのか～」	金沢手をつなぐ親の会 障がい児対象児童クラブ 「すずかけクラブ」 笠合 竜明	保育士、幼稚園教諭等 58人
平成23年 10月25日	こころの健康センター	発達障害者の就労支援 「当事者家族のための学習会」	金沢公共職業安定所 山口 明弘 石川障害者職業センター 野口 恵 こまつ障害者就業・生活支援センター 能勢 三寛 ひろびろ福祉会 伊嶋 大輔	保護者等 41人

平成24年 1月28日 1月29日	いしかわ特別支援学校	ペアレントメンター養成講座 (ベーシックコース)	金沢大学 原田 克巳 名古屋大学附属病院 吉川 徹 愛知県自閉症協会 加藤 香 鳴門教育大学 小倉 正義	一般 100人
平成24年 3月11日	いしかわ総合スポーツセンター	アセスメントツール 導入基礎研修 「発達障害アセスメント研修会」	鳥取大学大学院 医学系研究科教授 井上 雅彦	保健師、保育士、幼稚園教諭等 113人

表2 講師を派遣した講演会及び研修会開催状況

日 時	会 場	内 容	対象及び人数
平成23年 5月19日	石川県庁	障害程度区分認定にかかる 認定調査員研修	障害程度区分認定調査員 90人
平成23年 6月7日	石川県庁	石川県行動援護従事者養成研修 企画会議	居宅介護従事者等 64人
平成23年 6月14日	こころの 健康センター	金沢大学学生講義	大学生 78人
平成23年 7月6日	石川県庁	石川県行動援護従事者養成研修	居宅介護従事者等 59人
平成23年 7月7日	石川県庁	石川県行動援護従事者養成研修	居宅介護従事者等 59人
平成23年 7月7日	社会福祉会館	東海北陸ブロック母子生活支援施設 研究協議会「石川大会」	母子生活支援施設職員 14人
平成23年 7月22日	石川県庁	石川県行動援護従事者養成研修 企画会議	居宅介護従事者等 14人
平成23年 7月26日	山代中学校	山代中学校教職員研修会	山代中学校教職員 28人
平成23年 8月5日	福祉総合 研修センター	平成23年度知的障害者 居宅介護従事者資格取得研修	知的障害者 12人
平成23年 8月11日	総合看護 専門学校	養護教員健康相談事例研究会	養護教員 16人
平成23年 9月6日	石川県庁	平成23年度障害者相談員研修会 (知的障害者相談員)	知的障害者相談員 40人
平成24年 1月6日	こころの 健康センター	養護教諭研修会	高等学校養護教諭 12人
平成24年 2月7日	こころの 健康センター	東京都港区議会議員視察	港区議会議員 10人
平成24年 3月4日	勤労者福祉 文化会館	発達障害児・者支援を考える 県民フォーラム	一般 159人

Ⅲ 資 料

1 保健所の精神保健福祉活動（平成23年度）

精神保健福祉相談・訪問状況

相談内容別(重複選択)及び相談方法区分(電話・来所・訪問)

保健所	区分	老人精神 保健	社会復 帰	アルコー ル	薬物	思春期	心の健康 づくり	その他	合計(延)
南加賀保 健福祉セ ンター	電話	46	303	19	6	8	237	337	956
	来所(実115)	5	234	14	3	8	37	50	351
	訪問(実61)	9	58	5	5	2	42	78	199
加賀地域 センター	電話	7	83	2	6	7	201	0	306
	来所(実32)	5	5	9	0	6	62	0	87
	訪問(実31)	15	21	1	17	2	64	0	120
石川中央 保健福祉 センター	電話	22	211	50	8	106	482	75	954
	来所(実96)	3	105	1	0	11	150	8	278
	訪問(実61)	0	164	24	1	48	101	18	356
河北地域 センター	電話	8	116	15	0	53	406	438	1036
	来所(実30)	0	8	1	0	22	18	17	66
	訪問(実36)	0	23	0	0	9	32	62	126
能登中部 保健福祉 センター	電話	47	267	10	0	19	26	43	412
	来所(実64)	14	97	2	0	10	14	22	159
	訪問(実45)	10	57	1	0	4	5	19	96
羽咋地域 センター	電話	1	13	5	0	0	1	44	64
	来所(実29)	0	11	1	0	7	0	38	57
	訪問(実12)	3	11	0	0	0	0	25	39
能登北部 保健福祉 センター	電話	24	427	15	1	15	14	6	502
	来所(実65)	23	78	3	0	20	2	3	129
	訪問(実42)	4	79	1	0	7	1	0	92
珠洲地域 センター	電話	0	272	4	0	19	0	7	302
	来所(実30)	1	40	6	0	13	0	2	62
	訪問(実12)	1	16	1	0	3	0	0	21
泉野福祉 健康センタ ー	電話	52	931	49	0	5	197	0	1234
	来所(実110)	2	178	5	0	4	226	0	415
	訪問(実75)	2	174	9	0	0	14	0	199
元町福祉 健康センタ ー	電話	26	557	10	0	1	101	19	714
	来所(実78)	2	75	3	1	0	32	3	116
	訪問(実37)	0	72	2	0	0	16	8	98
駅西福祉 健康センタ ー	電話	106	553	45	1	0	211	3	919
	来所(実86)	16	90	9	0	0	37	0	152
	訪問(実67)	29	119	7	0	0	30	0	185
計	電話	339	3733	224	22	233	1876	972	7399
	来所(実86)	71	921	54	4	101	578	143	1872
	訪問(実67)	73	794	51	23	75	305	210	1531

2 その他資料

こころの健康センター貸出しビデオ・DVD一覧 ビデオテープ（VHS方式）・DVD

（平成24年12月現在）

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオ DVD	内 容
児 童	2101	SOSからの笑顔へ ～いじめ登校拒否から自立を待つ～	60分	小・中 高・一	ビデオ	登校拒否の生徒を立ち直らせた事例の紹介
	2102 ～ 2106	子育てたまご(1)～(5)	各60	一般	ビデオ	0歳～小学生の子供について、親子・育児・あそび・食事などテーマ別に描いた家庭教育ビデオ
	2107	よい子のため息S・O・S	30	母親	ビデオ	子どものため息をついてる。(悩んでいる)
	2108	いじめ	30	中高生	ビデオ	先生は動いてくれなかった。先生は信じてくれない。仲間はづれが一番つらい。
	2109	あなたの心、元気ですか！	20	一般	ビデオ	高校生及び、心の病を理解し、どのように対処するか の工夫を考え、学ぶことを目的としたビデオ。
	2110	夢はお母さんと二人つきり	32	母親	ビデオ	幼児は、妹や弟が出来ると母親を独占したいと思 うようになる。
	2111	子育てに自信をなくしているあなたへ	15	育児者	ビデオ	育児の悩みの解消策について。
	2112	子ども虐待防止対策ビデオ 「MCGとは何か」	15	母親	ビデオ	MCGとは東京都世田谷区の取り組みで、母と子の関係 を考える会(グループミーティング)のこと
こ こ ろ の 健 康	2201	職場ストレスと健康 第1集 ストレスとは	16	一般	ビデオ	ストレスとは、人間の心と体に対して外部からの社会的・ 精神的・肉体的刺激が加わり、心身にマイナスが生じた状 態。
	2202	職場ストレスと健康 第2集 職場ストレス	18	一般	ビデオ	複雑な人間関係や過剰な残業により、神経症やうつ状 態に陥る人が増えた。
	2203	職場ストレスと健康 第3集 職場ストレスと健康防衛	19	一般	ビデオ	ストレス症候群に対するには、ストレスの防衛を考え る。
	2204	小比木敬吾による症例分析	30	一般	ビデオ	慶應義塾大学医学部精神神経科助教授、小比木敬 吾氏の講演。(メンタルヘルスを各職場、企業の中 で実践する方法について)
	2205	セルフコントロール医学への道	58	一般	ビデオ	東大医学部部分院心療内科長、石川・中氏の講演。(患 者自身が、病理について熟知し、自分で自分の心身を セルフコントロール出来るようにする)
	2206	うつの時代	30	一般	ビデオ	日本精神病院協会会長、斉藤茂太氏のうつに関する講 演会。
	2208	現代人のメンタルヘルス (心の病気)	29	一般	ビデオ	神経症・心身症・精神分裂病・うつ病・そう病・ アルコール依存症などが一般的。
	2209	管理・監督者のための ストレスマネジメント	40	管理者	ビデオ	管理者として部下のストレス対策は、どうあるべき か。
	2210	中・高年期の精神保健	23	一般	ビデオ	65歳以上の老人の2割程度が、何らかの心の病気を 持っている。老人の心の病気を説明。
	2211	その場でできるやさしい疲労回復法健 康ストレッチング	20	一般	ビデオ	デスクワークの人達のために、ストレッチングを 中心として様々な疲労回復方法を教示する。
	2212	災害と心のケア	42	一般	ビデオ	災害等の非常時に遭遇した時に、心的障害に対し てどのように対処すべきか。
	2213	開く-かける-つなぐ～精神保健ボラン ティア～いっしょにいこうよ	39	一般	ビデオ	いろいろな精神保健ボランティアを紹介すると共 にその大切さを訴える。
	2214	開く-かける-つなぐ～精神保健ボラ ンティアもつちかくに～	43	一般	ビデオ	作業所等にボランティアが集う。
	2215	おかえり	99	一般	ビデオ	新婚の妻が幻覚妄想状態になったが、治療を拒む妻の 要求を受け入れた夫が一晚の入院で退院させること になる映画。

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオ DVD	内容
こころの健康	2216	小さなほほえみのために～乳幼児突然死症候群 SIDS から赤ちゃんを守る～	5分	一般	ビデオ	2千人に1人の割合で死亡者が発生。眠っている間に死ぬ。1歳未満の赤ちゃん。
	2217-1	企業戦士のメンタルヘルス ①五月病症候群	20	一般	ビデオ	五月病は学生は受験後、新社会人は社内研修が終わった後等次の環境にうまく順応出来ない人（まじめな人、過保護の人、交際相手の少ない人等）が危ない。
	2217-2	企業戦士のメンタルヘルス ②入社拒否症候群	20	一般	ビデオ	ア心身症イ軽症うつ症ウ無気力症エずる休み型に分類され、ア及びイのタイプが断然多い。
	2217-3	企業戦士のメンタルヘルス ③燃えつき症候群	20	一般	ビデオ	無気力になる。仕事熱心、有能な人、几帳面な人、ゆとりや融通性に欠ける人が危ない。
	2217-4	企業戦士のメンタルヘルス ④帰宅恐怖症候群	16	一般	ビデオ	家へ帰りたくても、家庭に父親の存在場所が無いため帰れない。クリニックへ駆け込み寺のように駆け込んでくる。妻の言動の影響が大きい
	2217-5	企業戦士のメンタルヘルス ⑤スーパーウーマン症候群	20	一般	ビデオ	スーパーウーマン症候群とは、スーパーウーマンになろうとして起きてくるストレス精神障害①職場の第一人者②妻として充実した家庭③母親としての子育て等を望む。
	2218	根絶！夫からの暴力 あなたは悩んでいませんか？	27	一般	ビデオ	平成13年4月に配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律が施行された。
	2219	心だって風邪を引く～メンタルヘルス対策を進めよう！～	41	一般	ビデオ	平成12年8月に、労働者から発表された事業場における労働省のこころの健康づくりのために指針について。
	2220	ドメスティクバイオレンス犯罪です	20	一般	ビデオ	日本各地に駆け込みシェルターがある。
	2221	再出発へのサポート～女のスペース・おん駆け込みシェルターの現場から～	18	一般	ビデオ	DVから逃れてくる女性達の駆け込みシェルターの現状と問題点を描く。
	2222	米国東海岸の挑戦 前編	23	一般	ビデオ	ボストン・ケンブリッジをはじめとする米国東海岸地域は
	2223	米国東海岸の挑戦 後編	21	一般	ビデオ	マサチューセッツ州におけるドメスティクの被害者へのサポート、加害者への対象は進んでいる。ある被害者女性へのサポート状況を紹介。
	2224	ひきこもる心と向き合うには	73	一般	ビデオ	ひきこもりの子供を持つ家族の心構えについて。
	2225	あなたの心元気ですか！	19	高校生	ビデオ	多感な時期にある高校生が心の病を理解し、どのように対処するか工夫を考える、学ぶために制作された。
	2226	ストーカー対策 女性が身を守るために	30	女性一般	ビデオ	ストーカー犯罪を中心に、女性が被害者になる犯罪事例をドラマ再現し、対策を解説。
	2227	なくせ！ストーカー！ 心の闇に潜むもの	40	女性一般	ビデオ	ドラマを用い、ストーカー犯罪をわかりやすく解説。ストーカー被害に遭わないようにし
	2228	映像版・いいかげんに生きよう	22	一般	ビデオ	摂食障害者の自助グループ NABA 活動編。
老人精神保健	2301	花いちもんめ	127	一般	ビデオ	老人性アルツハイマー型痴呆症の男性に振り回される家族と親族の苦悩を描いた映画。
	2302	ぼけのお年寄り介護	22	一般	ビデオ	高齢化社会の到来を見越し、ぼけのお年寄り介護の方法が真剣に探し求められている。
	2303	痴呆性老人の介護者のために～心の旅路～	77	一般	ビデオ	在宅老人（一人暮らし）に対する訪問看護の仕方について。
	2304～2305	痴呆老人の介護（1）（2）	各20	一般	ビデオ	痴呆老人の特徴（症状）とそのかわりについて解説。
	2306	痴呆性老人の在宅介護！ぼけの病状に対応するために～	24	一般	ビデオ	ぼけの老人に対する在宅介護の仕方について。
	2307	痴呆性老人の在宅介護！～ボケのお年寄りの正しい理解のために～	25	一般	ビデオ	千葉市にある稲毛ホワイエの紹介。（週3日、昼間の間、ボランティアの人達がボケのお年寄りの世話をする施設）
	2308	痴呆性老人の家庭介護！！～痴呆の理解とサービス～	32	一般	ビデオ	痴呆とはどのようなものかを教示すると共に、痴呆性老人の家庭介護方法を教える。
	2309	痴呆性老人の家庭介護！！～家庭介護の実際	28	一般	ビデオ	家庭介護の基本的な心構えを、3人の体験者談を参考にまとめた。

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオDVD	内容
老人精神保健	2310	心がうごけば身体も動く（上）	23分	一般	ビデオ	楽しくリハビリに取り組む老人の姿を描いたもの。どうしても自分の足で立ってみたい！
	3211	雪見橋は行く	25	一般	ビデオ	岩手県の豪雪地帯にある二つの村の老人医療面での画期的な成果を描いたもの。
	3214	もし痴呆が起きたらアルツハイマー型老年痴呆の介護編	23	一般	ビデオ	アルツハイマー型痴呆老人に対する介護の仕方について。
	2316	おとしよりの介護「第8巻」	37	一般	ビデオ	痴呆性老人の問題行動と予防のてだてについて説明。
	2317	人は薬 痴呆性老人と介護のコツ	25	一般	ビデオ	痴呆性老人に対する介護の仕方について。
	2415	ひとりぼっちをなくそう	40	一般	ビデオ	精神障害者本人の会の紹介
精神保健	2401	君は空の青さを知っているか	24	一般	ビデオ	神奈川県における各作業所の取り組みを描いたもの。
	2403	150万人の訴え	29	一般	ビデオ	全国で150万人の精神障害者が、世間からの偏見と差別で苦しんでいる。
	2404	つらい養成巴病院(釧路のロマン)	40	一般	ビデオ	ある医者が、釧路で「人間解放」「自然に帰れ」を理念とした画期的な病院を開設した。
	2405	ひとりぼっちじゃない ～自立するファウンテンハウス～	35	一般	ビデオ	ニューヨークにある精神障害者の社会復帰施設、 ニューヨークファウンテンハウスの紹介
	2406	僕たちのみた青い空	24	一般	ビデオ	神奈川県内の患者会「やまゆり会の活動の様子を描いたもの
	2407	正しい知識は回復への道	14	一般	ビデオ	統合失調症は、正しい知識があれば治る病気である。
	2408	ゆっくり治療し再発を防ごう	14	一般	ビデオ	統合失調症の治療と再発を防ぐ方法。
	2409	私たちは家族 ～アメリカ家族会発展の秘密～	25	一般	ビデオ	ナミ「NAMI」（日本語で言う全家連）についての発展とその紹介
	2410	支えあうなかで ～精神障害者とその仲間たち～	35	一般	ビデオ	JHC板橋と作業所「えごのみ」の紹介。
	2411	精神障害者が受けられる税制上の 特典	11	一般	ビデオ	精神障害者には、各種税金にかかる基礎控除、非課税減免が認められている。
	2412	今ここにいきる～精神障害者と共に～	30	一般	ビデオ	高知県における精神保健活動の紹介。
	2413	ここにおいでよ ～精神障害者を支える地域作業所	30	一般	ビデオ	地域作業所の紹介
	2414	知っておきたい薬の知識	15	一般	ビデオ	統合の治療薬についてわかりやすく説明。
	2416	サンフランシスコのハーブウェイハウス	20	一般	ビデオ	サンフランシスコで活発に活動している病院と家庭の中間にあたる施設の紹介。
	2419	全家連 30年のあゆみ	31	一般	ビデオ	日本全家連の生い立ちから現在までの歴史。
	2420	あちこたねえ ～精神障害者の地域生活支援～	30	一般	ビデオ	新潟県のすもん村にある通所授産施設の紹介。「あちこたねえ」とはもうだいじょうぶという意味
	2430	僕たちは飛行機に乗った	41	一般	ビデオ	通所授産施設「またたびの家」のメンバーが、飛行機で沖縄旅行した記録。
	2431 ～ 2432	精神障害者ケアマネジメント第1巻 第2巻	38 48	一般	ビデオ	精神障害者マネジメントの進め方について説明。
	2433	精神保健福祉ビデオシリーズ③精神障害者をもつ人への援助の実際	23	一般	ビデオ	病院と患者の中間施設として諸々の施設が存在する。
	2434	精神保健福祉ビデオシリーズ④精神障害者をもつ人のケアマネジメント	21	一般	ビデオ	基本的な考え方を基に、諸々の取り組みが行われている。
2435	精神保健福祉ビデオシリーズ⑤の 一マラゼーション	27	一般	ビデオ	精神障害者には対するノーマライゼーション社会の現実を目指す。	
2436 ～ 2437	あせらずにゆとりをもってむりしない 全編 後編	38 30	一般	ビデオ	統合失調症を中心とした精神障害の心理教育のためにつくられたビデオ。	
2438	心理教育による精神障害者の家族支援	34	一般	ビデオ	統合失調症があり、今は両親と療養生活を送る男性を例として精神障害者の家族に対する心理教育の大切さを訴える。	
2439	統合失調症を生きる 妄想編その1 ～四六時中のぞかれていた七年間～	32	一般	ビデオ	23歳で統合失調症を発症した女性の、七年間にわたる戦いを描いたもの。（ベテルの家）	

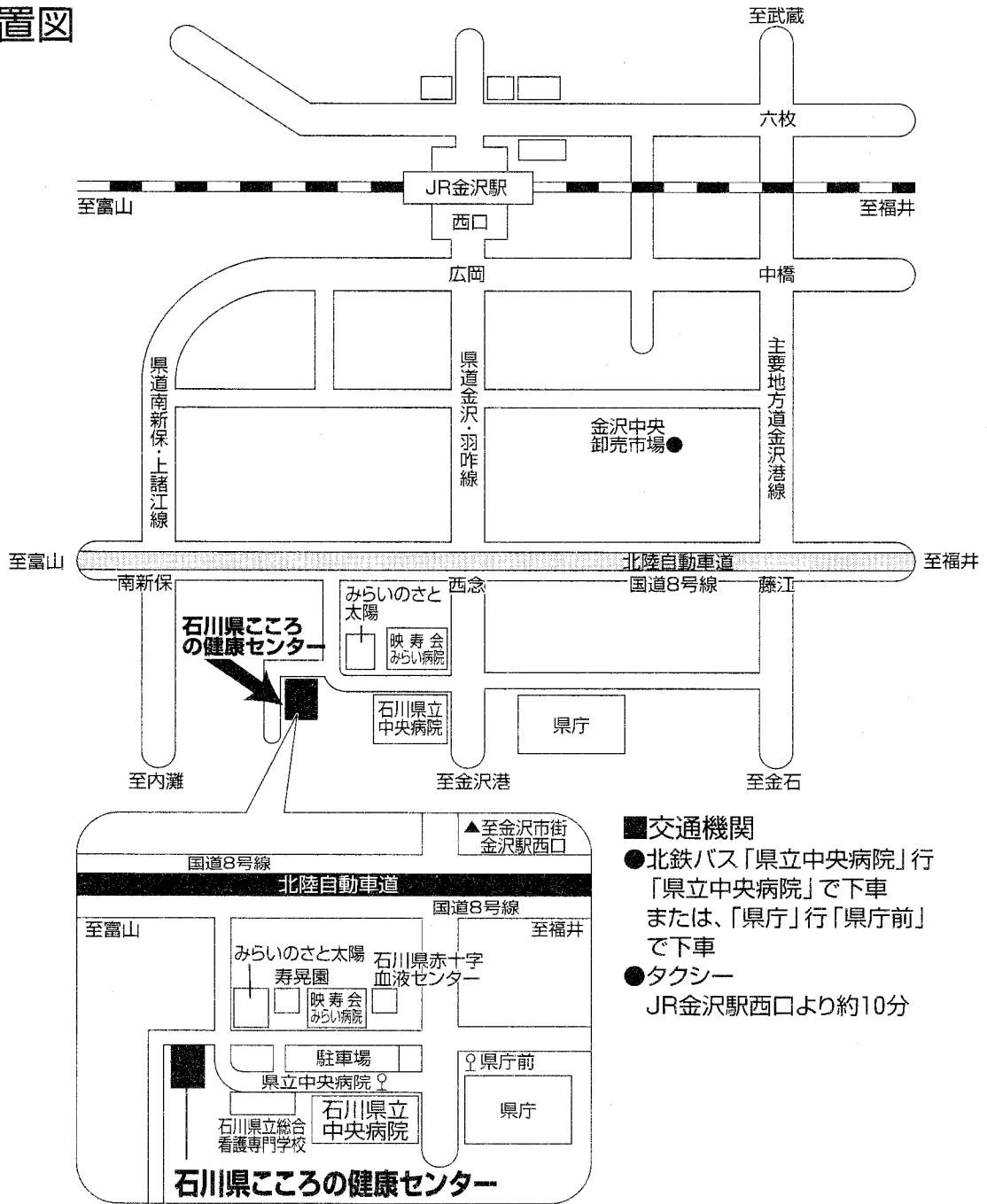
分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオDVD	内容
精神保健	2440	統合失調症を生きる 妄想編その2 ～ヒーローたちの戦い～	35分	一般	ビデオ	20代で統合失調症を発症した男性の体験を、同じ経験を持つ仲間と語り合う様子を描いたもの。(ベテルの家)
	2441	今日の精神科入院医療 ～心の病気を克服するために～	26	一般	ビデオ	18歳の大学受験生が統合失調症診断され医療保護入院となるが順調に回復し通院治療となる。精神保健福祉法と解説と一般的な治療法を紹介。
	2442	精神保健福祉ビデオシリーズ！！ 共生の時代へ第4巻ピアカウセリング	23	一般	ビデオ	ピアカウセリングの実際と概要。
	2443	正しく理解し回復を目指そう	20	一般	ビデオ	2407、2408、2414の改訂版
	2444	薬の作用と上手な付き合い方	20	一般	ビデオ	
	2445	この街で自分らしく生きる	20	一般	ビデオ	
	2446	コートに輝く笑顔と汗	35	一般	DVD	精神障害者バレーボール全国大会の模様を紹介。
	2447	ピアカウセリングセミナー基礎編シリーズ	284	一般	DVD	ピアカウセリングを共に学ぶ仲間づくり。
アルコール	2501	アルコールの害シリーズ～酒害の予防～	26	一般	ビデオ	最近の犯罪の多くはアルコールと関連している
	2502	アルコールの害シリーズ ～10代の飲酒問題～	28	一般	ビデオ	最近の犯罪の多くはアルコールと関連している10代の飲酒問題は極めて深刻な社会問題となっている。
	2503	アルコールの害シリーズ ～アルコール依存者の家族～	14	一般	ビデオ	家族と入院患者が、ファミリーウィークに話し合いをする。(アメリカ)
	2504	アルコールの害シリーズ ～女性とストレス～	21	一般	ビデオ	ある薬物、アルコール依存者の女性の事情を描く。
	2505	アルコールの害シリーズ ～胎児性アルコール症候群～	10	一般	ビデオ	妊娠中の女性がアルコールを飲むと、胎児性アルコール症候群の赤ちゃんが産まれる。
	2506	アルコール依存症とは	28	一般	ビデオ	あるアルコール依存症者の体験をもとに構成された。
	2507	アルコール依存症の心理	20	一般	ビデオ	多くのアルコール依存症を克服した人々のインタビューをもとに構成された。
	2508	アルコール依存症 ～家族の心理～	23	一般	ビデオ	多くのアルコール依存症を克服した人々のインタビューをもとに構成された。
	2509	アルコール依存症 ～アルコール依存症から回復～	27	一般	ビデオ	アルコール依存症者の体験をもとに構成された。
	2510	アルコール依存症 ～酒なし生活術～	20	一般	ビデオ	神と悪魔が戦っている。その戦場は、人間の心の中である。自分の自覚がいつ持てるか。
	2511	酒とバラの日々	122	一般	ビデオ	ある若い夫婦がアルコールによって、共に墜落の人生に落ち込んで行く様子を描いた映画。
	2512	老化と飲酒	26	一般	ビデオ	老人は、適正飲酒を心がけること。
	2513	アルコールと循環器	20	一般	ビデオ	アルコールは、肝臓はもとより心臓にも多大な影響を与える。
	2514	肝臓とアルコール代謝	29	一般	ビデオ	アルコールに対する肝臓の働きを解説したもの。
	2515	あと一杯が飲めるか ～ソーシャルドリンカーへの手引き～	43	一般	ビデオ	日頃、適正飲酒の指導などを行っている保健師さんが、飲酒によって起こる障害を予防するにはどうしたらよいかを精神科医と内科医に教示をうけた。
	2516	酒飲み上手は生き上手	16	青少年	ビデオ	若いあなたへ、上手な飲酒のアドバイス。飲酒量の単位とは何か。肝臓の処理能力は、1単位の消化に3時間必要である。妊娠中の女性の飲酒は絶対危険。
	2517	お酒と人生 ～飲み方・酔い方・楽しみ方～	17	一般	ビデオ	飲酒に関して、1単位ではほろ酔いかげん・2単位では本格的な酔い、体温が上昇、みやがはやくなる・3単位ではめいてい期、気が大きくなっておこりっぽくなる。
	2518	アルコールキッド ～今、お酒にはふれないで～	9	青少年	ビデオ	若年者が飲んだアルコールは脳細胞の破壊を進める。又、肝臓で分解されてアセトアルデヒドに酸化されるが、これを分解する酵素の働きが弱い。

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオDVD	内容
アルコール	2519	未成年者とアルコール	23分	未成年者	ビデオ	未成年者の飲酒とイッキ飲み障害の防止を訴える。
	2520	アルコール依存症～依存症の概要～	29	一般	ビデオ	酒を止められない病気である。アルコール離脱症状の出現。断酒以外に回復の道がない。
	2521	アルコール依存症～ケース事例～	35	一般	ビデオ	アルコール依存症になった人々の事例。
	2522	アルコール依存症～専門職の活動～	33	一般	ビデオ	アルコール依存症者に対する相談・援助窓口について。
	2523	お年寄りとお酒の付き合い方	28	一般	ビデオ	お年寄りがお酒を飲むときの注意点について。
	2524	お年寄りアルコールの対策～アルコール依存症は病気です～	22	老人	ビデオ	ある老人のアルコール依存症の実例。回復の方法を教示。応神のアルコール依存症は年々増えている。
	2525	もうひとつの人生(上)	45	一般	ビデオ	アルコール依存症になった人々の事例。
	2526	もうひとつの人生(下)	55	一般	ビデオ	〃
	2528 ～ 2531	アルコール依存症への道(1)～(4)	各20	一般	ビデオ	予防編(女性むけ、一般飲酒むけ) 回復編(家族むけ、依存症本人むけ) に分けて、説明。
	2532	未成年者にアルコールなんかいらぬ	36	未成年者	ビデオ	最近、中、高校生の飲酒が急激に増加している。
	2533	アダルドチャイルド	32	一般	ビデオ	従来は、アルコール依存症の親のもとで育った人のことを言ったが、今では広く機能不全家族のもとで育った人のことを言う。
	2534	アルコール依存症～回復プロセスと再発予防～	40	一般	ビデオ	回復とはすなわち、再発を防止することでもある。
	2535	薬物依存～孤独そして絶望からの脱出～	29	一般	ビデオ	群馬県藤岡市上日野にある民間薬物依存者回復施設「ダルク」についての紹介。
	2536	強迫的ギャンブル回復施設ワンダーボート	6	一般	ビデオ	ギャンブル依存症者が共同生活をしながら回復を目指す施設「ワンダーボート」の紹介。
心理面接技法	2601	自立訓練法の実際	30	一般	ビデオ	心身をリラックスし、調整する、セルフコントロール法の実際を分かりやすく解説したもの。
	2602	リラクゼーションの実際	19	一般	ビデオ	筋弛緩法(生理的な緊張を解き、心理的な安静を得ようとするもの)
	2603	続リラクゼーションの実際	17	一般	ビデオ	筋弛緩法を実行してうまくいかない人のためのA-B-A方式の解説。
	2604	箱庭療法の基礎理論	19	一般	ビデオ	砂箱と色々なミニチュアを使って行われる心理療法を解説。
	2605	絵画療法 [1]	20	一般	ビデオ	心身症と離人症を呈した患者が、絵画療法によって立ち直った例を、患者の方から描いたもの。
	2606	絵画療法の理論 [2]	24	一般	ビデオ	その場で描いてもらう方法と、あらかじめ描いて持ってきてもらう方法がある。
	2607	絵画療法の症例研究 [3]	32	一般	ビデオ	心身症と離人症を呈した患者が、絵画療法によって立ち直った例を、医師の方から描いたもの。
	2609	ケースの心をとらえる面接!	23	一般	ビデオ	どのような方法で面接を行えばよいかを教示している。
	2610	ケースの心をとらえる面接!!	27	一般	ビデオ	就職を目前にした大学生に対するカウンセリングの仕方を教示している。
	2611	ロールシャッハテスト	30	一般	ビデオ	インクのしみで出来たカードを被検者に見せ、それぞれのカードに示される様々な反応を記録、検討して被検者の性格や人格像を見極める。
2612	心理療法としての箱庭と子供への適応の方法	51	一般	ビデオ	カルフ婦人が、子供が勉強で離れた心を癒すために、箱庭療法を行いに来る。	
2613	フェイス トゥ フェイス 1巻～マイクロカウンセリング	24	一般	ビデオ	他人とうまく付き合っていくための技法を、マイクロトレーニングという方法で教示する。	

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオDVD	内容
心理面接技法	2614	フェイス トウ フェイス 2 巻 ～積極技法ほか～	26 分	一般	ビデオ	いいかえと要約、感情の反映、フィードバック、積極技法。
	2615	フェイス トウ フェイス 3 巻 ～技法の統合ほか～	29	一般	ビデオ	焦点のあて方、主張、不一致と複雑なメッセージ、技法の統合。
	2616	自立生活技能(SILS)プログラム デモンストレーション編 ①モジュールの構成	24	一般	ビデオ	アメリカの精神科医師が、精神障害者の自立生活技能モジュールを開発した。
	2617	自立生活技能(SILS)プログラム デモンストレーション編 ②導入とビデオを用いた質疑応答	20	一般	ビデオ	導入・・・技能領域の学習への適切な導入のやり方を教示。ビデオを用いた質疑応答・・・ビデオを用いりながら、適切に質疑応答を行う方法を教示。
	2618	自立生活技能(SILS)プログラム デモンストレーション編 ③ロールプレイ	46	一般	ビデオ	ロールプレイの適切なやり方を教示。
	2619	自立生活技能(SILS)プログラム デモンストレーション編 ④実地練習ほか	56	一般	ビデオ	日常生活の中で、実際にやること。
	2620	自立生活技能(SILS) モジュール編 ①服薬自己管理モジュール	63	一般	ビデオ	抗精神病薬について知る、正確な自己服薬と評価の仕方を知る。薬の副作用を見分ける。
	2621	自立生活技能(SILS)プログラム モジュール編 ②基本会話モジュール	42	一般	ビデオ	コミュニケーションの言語的要素と非言語的要素。
	2622	自立生活技能(SILS)プログラム モジュール編 ③病状自己管理モジュール	51	一般	ビデオ	再発の注意サインを見つける、持続症状の対処方法を学ぶ。
	2623	自立生活技能(SILS)プログラム モジュール編 ④余暇のすごし方モジュール	23	一般	ビデオ	レクリエーションの効果を明確にする。(ジョギング、水泳、バレーボール、映画、動物保護施設でボランティアなど)
	2624	パニックディスオーダー 6 人の患者	9	一般	ビデオ	次のようなパニック障害がおきる人がいる。(突然の発症、呼吸困難、窒息感、めまい、吐き気、嘔吐など)
	2626	行動療法的家族指導(BFM) ～治療技法の実際編～	53	一般	ビデオ	BFMは精神病患者とその家族が、生活上のストレスを減らすため、自分たちの対処技能を効果的に使えるように導くものです。
	2627	こころを育むストレスマネジメント技法	40	小・中・高・一	ビデオ	ストレスマネジメント教育で気持ちの切り替えがうまくなる。ストレスに強くなる。
	2628	学校におけるストレスマネジメント教育	34	一般	ビデオ	学校におけるストレスマネジメント教育の可能性について探る。
	2629	生きる力を創る ～SST の倫理と実際～	47	一般	ビデオ	SSTとは認知行動療法。(指導者が学習促進を援助する)
	2631	面接への招待 ①	59	一般	ビデオ	電話によってインテークと訪問による面接を通して、相談援助面接の一つの事例を紹介。あらゆる領域で働く対人援助識者が、応用可能である。
	2632	面接への招待 ②	60	一般	ビデオ	核心をはずさない相談援助面接の技法を紹介する。
	2633	ひきこもり完全脱出マニュアル 初級入門編 こうすれば子どもと対話ができる。	60	一般	ビデオ	ひきこもりに対応するには、親と子の意思疎通が重要である。対等の関係を保つ。
	2634	ひきこもり完全脱出マニュアル 第2講 ケーススタディ編 不登校とひきこもり	60	一般	ビデオ	ドラマ仕立てで事例を再現し、不登校状態をひきこもり状態へと深刻化させず、脱却させるための、家族、教師の心構えを解説。
2635	ひきこもり完全脱出マニュアル 第3講 思春期対応編 精神的症状とひきこもり	45	一般	DVD	強迫性障害のお子さんを抱えた家族を事例に、ひきこもりに多い各種精神症状とその対応について、再現ドラマをもちこみながら斎藤環氏が解説。	

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオDVD	内容
心理面接技法	2636	ひきこもり ① ひきこもりに対する正しい理解	7分	一般	DVD	2003年から2004年にかけてNHKで放送された『ひきこもりサポートキャンペーン』の内容をもとに制作されたビデオ。
	2637	ひきこもり ② 支援の実践にあたあたって	43	一般	DVD	
	2638	ひきこもり ③ 検証・支援現場～民間編～	39	一般	DVD	
	2639	ひきこもり ④ 検証・支援現場～公的機関編～	35	一般	DVD	
	2640	実録・家族療法 1巻 「心理教育アプローチ」に基づく家族面接	61	一般	DVD	3人のセラピストによる家族面接ドキュメント
	2641	実録・家族療法 2巻 「力動的的精神療法」に基づく家族面接	68	一般	DVD	
	2642	実録・家族療法 3巻 システムアプローチに基づく	872	一般	DVD	
	2643	実録・家族療法 オリエンテーション編		一般	DVD	
	2642	認知行動療法 ベテる式	95	一般	DVD	ベテルの家の幅広い活動を(認知行動療法)という視点から切り取って紹介。
	2234	統合失調症の人の回復力を高める ①回復力を高める接し方	95	一般	DVD	統合失調症の症状、治療、再発予防について基本的な講義
	2235	統合失調症の人の回復力を高める ②ドラマで学ぶ回復力を高める会話	85	一般	DVD	ご本人との具体的なコミュニケーションについて実際のやりかたを学ぶ
	2236	統合失調症の人の回復力を高める ③家族のSSTの進め方	45	一般	DVD	病気のご本人とのよりよいコミュニケーションについて家族が集まって考える。
	2238	こころの病気を学ぶ授業 ～統合失調症～		一般	DVD	2008年普及活動及び授業実施報告
	2239	眠れなくなった父さんヒツジ	30	一般	DVD	うつ病の人の94%に「睡眠障害」があると報告されています。
2240	こころのサインに気づいたら 悩んでいる人にあなたができること	11	一般	DVD	悩んでいる人との向き合い方について。	

位置図



こころの健康センター所報 第34号

平成24年12月発行

石川県こころの健康センター
〒920-8201 金沢市鞍月東2丁目6番地
電話 (076) 238-5761
FAX (076) 238-5762

● ホームページ

<http://www.pref.ishikawa.jp/fukusi/kokoro-home/kokoro/top.html> (こころの健康センター)

<http://www.pref.ishikawa.jp/fukusi/kokoro-home/hattatu/top.htm> (発達障害支援センター)